

未来への報告書  
イオンモール  
CSRレポート  
2017

つなげたい想いを、かたちに。



イオンモール株式会社

# ひとつひとつのモールが、 それぞれの地域のために。

国内、海外に190拠点を展開するイオンモール。  
その立地、環境、風土はひとつとして同じではありません。

地域のみなさまと心を重ねあわせて、  
そこにしかない魅力を大切に育んでいく。  
私たちは、そんな商業施設をめざしています。



イオンモール長久手(愛知県)

## Contents

4	Top Message	26	イオンモール CSRの「5つの柱」
6	会社概要	28	<b>地域とともに</b> 継続的な地域社会への貢献
8	New Mall 2016-2017		
10	CSR Topics 2016-2017	32	<b>パートナーとの協力</b> 健全で良好なパートナーシップの推進
12	<b>特集1 多様化する地域貢献</b>		
18	<b>特集2 災害と向き合うモールづくり</b>	34	<b>社員の職場環境</b> すべての人が生き活きと働く職場の実現
			
24	<b>特集3 海外モールの最新動向</b>	36	<b>モールの安全管理</b> 不断の安全追求から生まれる安心の獲得
			
		38	<b>環境への配慮</b> 地域から地球へ、環境保全の推進
			
		42	コーポレート・ガバナンスに対する取り組み
		43	イオンモール データ集
		48	2016年度 CSR会計報告
		50	第三者意見

個々のモールが新たな価値を創造し、  
地域と一体となった発展をめざします。



イオンモール河北燕郊（中国・河北省）



イオンモール株式会社  
代表取締役社長

吉田 昭夫

当社はイオングループの中核企業として商業施設の開発・運営を担い、2017年4月現在、日本国内、中国、アセアンに190拠点を展開しています。

モールビジネスの成功は、出店させていただいた地域の発展、そしてお客さまからの確かな支持がなければなりません。求められるモールのあり方は時代とともに変化し、また立地や環境によってさまざまに異なります。いかにして地域のみならず、みなさまのニーズをつかみ、暮らしを創造する商業施設として新たなご提案ができるか。Eコマースも台頭するなか、そこに足を運ばなければ得られない喜びや楽しみがあり、そのモールにしかない個性が輝く施設づくりをめざしています。

国内では、新規モールのオープンとともに既存モールの大規模なリニューアルに注力し、常に新鮮さを保つとともに、暮らしや健康に関わる機能をいっそう充実させて、地域のインフラとしての役割を強化しています。また、中国・アセアンでは既存

のモールに対する高い評価が新規モールの出店をスムーズにする好循環が生まれており、ドミナント戦略に基づく積極的な出店を続けています。

今年度は、国内では女性が、海外ではローカルスタッフが開設責任者となって新規モールをオープンして好評をいただくなど、ダイバーシティの推進もいっそう活発になってまいりました。あわせて、各モールに保育園の設置を進め、専門店の従業員さまにとって働きやすい環境の実現にも努めています。また、当社はかねてより自然エネルギーの活用や電気自動車の対応、緑化など、環境面の先進的な取り組みを率先して導入しており、近年では海外でもこうした取り組みが商業施設の新たな価値として認知されています。

すべてのモールが地域で最も愛される商業施設となるよう、従業員一同さらなる努力を続けてまいります。引き続きみなさまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



イオンモール堺鉄砲町(大阪府)

イオングループの中核企業として、  
日本全国、アジアでショッピングモールの開発・運営を進めています。

● 会社概要

社名 イオンモール株式会社  
 設立 1911年(明治44年)11月  
 資本金 422億5,693万円(2017年2月末現在)  
 事業内容 大規模地域開発及びショッピングモール開発と運営 不動産売買・賃貸・仲介[国土交通大臣(2)第7682号]  
 従業員数 4,440名(2017年2月末現在)

【編集方針】 この報告書は、イオンモール株式会社が果たすべき社会的責任の目標と実績、私たちが携わるまちづくりについてのご報告と今後の課題について記述しています。

【報告書の対象範囲】

対象組織 イオンモール株式会社  
 イオンモール株式会社に属するグループ企業とその管理する施設が原則となりますが、環境指標については、イオンリテール株式会社から運営受託を受けている71モールおよび、mozo wondercity、ショッピングセンター ソヨカ ふじみ野、神戸ハーバーランドumie、カテプリを除きます。

対象期間 2016年3月1日から2017年2月28日  
 対象期間外の情報に関してはそのつど表記しています。また社員の役職は2017年2月末現在のものです。

発行 2017年5月

● イオンモールの理念

基本理念

お客さま第一

経営理念

イオンモールは、  
地域とともに「暮らしの未来」をつくる  
Life Design Developerです。

※Life Designとは…  
 商業施設の枠組みを越えて、一人ひとりのライフステージを見据えたさまざまな機能拡充を行い、ショッピングだけでなく、人との出会いや文化育成なども含めた“暮らしの未来”をデザインすること。

経営ビジョン

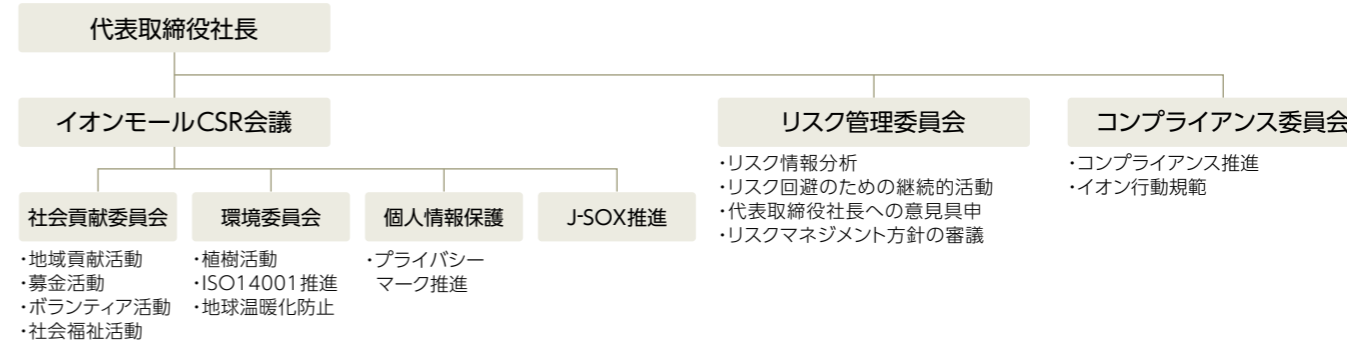
アジア50億人の心を動かす企業へ

- 私たちは、パートナーとともに、地域の魅力を磨きつづける究極のローカライズに挑戦します。
- 私たちは、一人ひとりがLife Design Producerとして、商業施設の枠組みを越え、新たな「暮らし」を創造する事業領域を拓き、成長し続けます。
- 私たちは、世界中の拠点をはじめとする全ての資産を活かし、永続的に発展することで、強い財務体質と強固な事業基盤を構築します。
- 私たちは、革新し続けるプロフェッショナル集団です。
- 私たちは、お客さまに徹底して寄り添い、生涯わすれえない思い出となる最良の体験を共有します。

コーポレート・メッセージ

ひと、まちも、きらきら。

● CSR推進体制図



2016年度は国内で6モール、海外で2モールが新たにオープンしました。地域みなさまに「私たちのイオンモール」と思っただけのような商業施設をめざして、これからも成長してまいります。

## イオンモール長久手 (愛知県) 2016年12月9日 オープン



▲専門店全体の1/4以上(53店舗)を食の専門店として、さまざまな食のニーズにお応えします



▲リニモ「長久手古戦場(イオンモール長久手 前)駅」とデッキで接続したことで、雨の日も快適にアクセスできます

### 地域と調和した居心地のよいモールへ

当モールは「みんなの憩い場。森のまち。」をコンセプトに、長久手市が推進するプロジェクト「リニモテラス構想」の中核を担う商業施設としてオープンしました。同市が掲げる「緑があふれる」まちづくりに呼応し、県内最大級となる約5,240㎡の建物緑化を施すなど周辺環境との調和に寄与しています。また、市民の平均年齢は全国市区町村で最も若く、小さなお子さま連れのお

母さまも多いので、通常より区画を広げた駐車スペース「ベビーパーキング」や、アロマの香りや専用スピーカーからのBGMで演出した「女性専用のパウダールーム」を設けるなど、居心地のよいモールづくりを追求してきました。

イオンモール長久手  
ゼネラルマネージャー  
中垣 智子



### 新たな情報発信の拠点として

ここにどんなモールが求められているのか時間をかけて地域のお客さまのニーズを研究するとともに、若い世代の力で地域を活性化させようと、名古屋商科大学の学生たちが主導してオープニング企画を実施しました。あくまで学生たちのやりたいことを私たちがサポートするスタンスで、準備には約10ヶ月を要

しました。長久手市も当モールとともにさまざまな情報を発信していきたいとの意向があり、地域とひとつになってさまざまな取り組みに挑戦したいと考えています。

イオンモール長久手  
営業マネージャー  
木村 栄介



### 立地を活かしたモールづくり

新店は初めての経験で、地域の将来に影響する重要な役割を担っていると感じます。駅前立地で4フロアということで、フロアごとのコンセプトを明確に打ち出すとともに、お客さまが上下に移動するストレスを感じないよう動線に配慮しました。飲食店の割合が多いと施設管理の負担は増えますが、フレックス社員

(パートタイマー)を含む当社の従業員全員が食品衛生責任者の資格を取得し、専門店の視点も理解したうえで施設全体の秩序を保つようにしています。

イオンモール長久手  
オペレーションマネージャー  
大倉 真司



## イオンモール堺鉄砲町 (大阪府) 2016年3月19日 オープン



コンセプトは「にぎわいかジュアルモール」。古くからひともの・情報が行き交い、「にぎわい」と「はなやかさ」があるまちとして発展を遂げてきた堺市の魅力を継承し、地域みなさまのデイリーニーズにお応えするとともに、新たなコミュニティの創造をめざします。

## イオンモール今治新都市 (愛媛県) 2016年4月23日 オープン



今治市の新たな開発エリア「今治新都市第一地区」内に、「しまなみ 7つ目の島」をコンセプトにオープン。四国最大級の飲食ゾーンを展開するほか、今治製のタオル、特産品「菊間瓦」など、今治ならではの魅力をふんだんに取り込んでいます。

## イオンモール出雲 (島根県) 2016年5月2日 オープン



2014年に営業を終了したイオン出雲店の跡地に「いつも 出雲で 新感覚」をコンセプトにオープン。自然、歴史、文化の魅力に富んだ出雲市の魅力をモール空間に取り入れました。

## カテプリ (北海道) 2016年12月16日 オープン



リニューアルした「新さっぽろアークシティ」の一角を占める「カテプリ」の活性化を担当。28のバラエティ豊かな飲食店が集積するほか、エコモールとしても進化を果たしました。

## 三宮オーパ2 (兵庫県) 2017年2月24日 オープン



当社と株式会社OPAがダイエー神戸三宮店の2期活性化としてオープン。「こだわりのライフスタイル」を提案し、便利で快適なショッピング環境をご提供してまいります。

## イオンモール ビンタン (ベトナム・ホーチミン市) 2016年7月1日 オープン



ホーチミン市中心地から南西約10kmにベトナム4号店がオープンしました。「New Sensation Entertainment Mall」をコンセプトに、ホーチミン最大級の飲食ゾーンやファミリーカラオケ、ボウリング施設などが揃い、さまざまな体験をお楽しみいただけます。(P24参照)

## イオンモール河北燕郊 (中国・河北省) 2016年11月5日 オープン



北京市内から東へ約40km、イオンモールの河北省1号店が誕生しました。約200の専門店が融合し「link(“ひと”と“こと”のつながる)」するショッピングモールをご提案。燕郊エリア最大規模のレストランゾーンなど、新たな体験でお客さまの五感を刺激します。(P25参照)

当社は「人と環境に配慮したモールづくり」をめざし、ハード/ソフトの両面から先進的な取り組みを導入してまいりました。本年度も国内・海外の各機関より高い評価をいただいています。

## 日本初のシステムを導入し、おおさかストップ温暖化賞 優秀賞を2年連続で受賞



大阪府が主催する「おおさかストップ温暖化賞」は、地球温暖化防止対策やヒートアイランド現象の緩和対策、電気需要の平準化対策の普及促進を目的に、事業活動で優れた取り組みを実施した事業者を表彰するものです。当社は府下6モールで温室効果ガス総排出量の前年度比削減率6.3%（原単位ベース）を達成した実績が評価され、2年連続で優秀賞を受賞しました。

2016年3月にオープンしたイオンモール堺鉄砲町で官民協働の取り組みとして運用を開始した「下水再生水高度複合利用システム」は、夏は冷たく冬は温かい下水再生水を施設内の給

湯や空調の熱源として活用するとともに、熱源として利用した下水再生水を膜処理装置で処理して敷地内の「せせらぎ水路」やトイレの洗浄水に利用するものです。下水再生水を同一の施設内で給湯と空調の熱源として利用する事例および下水再生水を熱源と水源に複合利用する全国初の事例として注目を集め、各方面から視察などをいただいています。



## アジア太平洋ショッピングセンターアワード 銀賞を受賞 イオンモール沖縄ライカム(沖縄県)



国際ショッピングセンター協会(ICSC)が主催する2016年アジア太平洋ショッピングセンターアワードのデザイン開発・新規開発部門において、イオンモール沖縄ライカム(沖縄県)が銀賞を受賞しました。このアワードは施設の優れたデザインや開発計画、開業後の施設運営・業績などを含めて総合的に評価されたものです。



## 第1回ABINC表彰 特別賞を受賞 イオンモール多摩平の森(東京都)



ABINC(一般社団法人いきもの共生事業推進協議会)が、特にABINCの普及啓発や生物多様性の主流化への貢献度が高い施設を対象として表彰するために創設した第1回ABINC表彰制度において、イオンモール多摩平の森(東京都)が都市SC版の特別賞を受賞しました。「事業的な制約がある中で実施された各種の取り組みは、大型商業施設における生物多様性保全の可能性に取り組んだパイオニア的な事例である」と高く評価されました。

## GRESBリアルエステイト評価の最高位「Green Star」を取得



グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク(GRESB)とは、不動産ポートフォリオやインフラなどを含む実物資産の環境・社会・ガバナンス配慮を測る国際的なベンチマークです。当社は、環境配慮やサステナビリティに関する取り組みについて「マネジメントと方針」および「実行と計測」の両面において優れていると高く評価され、4ランクで最高位の「Green Star」評価を獲得。過去最高の79点(平均スコア60点)を取得し、グローバル733社中108位になりました。総合スコアでの相対評価によるGRESBレーティングでも最上位の「5スター」評価を獲得しています。

## 平成28年度 コージェネ大賞 優秀賞を受賞 イオンモール沖縄ライカム(沖縄県)

2017年2月、当社は一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センターが主催する「平成28年度 コージェネ大賞」において優秀賞を受賞しました。イオンモール沖縄ライカムで沖縄県初となるLNGサテライト\*を活用したインフラ構築と天然ガスコージェネを導入し、環境性と防災機能を兼ね備えたまちづくりが評価されました。



\*受入基地から輸送されたLNG(液化天然ガス)を貯蔵し、供給するための2次受入基地。  
※当社、北中城村、沖縄電力(株)、(株)OGCTS、(株)竹中工務店が5者共同で受賞

## CASBEE不動産Sランクを取得 イオンモール幕張新都心(千葉県)



2016年10月、イオンモール幕張新都心(千葉県)は、全4棟でCASBEE不動産Sランクを取得しました。CASBEE不動産評価認証制度は、建築物の環境性能を総合的に評価する指標として広く認知されています。なお、同モールは2015年に国際的な建築物環境性能評価システムであるLEED認証のゴールドランクも全4棟で取得しています。



## 平成28年度 かながわ地球環境賞を受賞 イオンモール大和(神奈川県)

2017年2月、当社は神奈川県ならびに「かながわ地球環境保全推進会議」が主催する「平成28年度かながわ地球環境賞」(温暖化対策計画書部門)を受賞しました。県下で運営するイオンモール大和のエネルギー使用削減について、空調用冷却水ポンプのインバーター化、照明の間引き、外灯の点灯時間の見直しなどで顕著な実績をあげたことが評価されました。

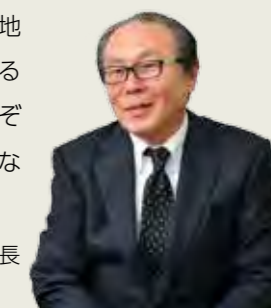


## 地域に寄り添うモール開発を

新たにモールを開発する際には、その地域の歴史や風土を丹念に調査し、行政がめざしているまちづくりの方向性も踏まえたプランをご提案しています。ご紹介したイオンモール堺鉄砲町の下水再生水高度複合利用システムは、計画地の近くに下水処理場があったこと、堺市が付近を流れる川の水環境改善に取り組んでいたこと、関西電力グループが環境面の先進的な研究を続けていたことなど、いくつかの条件が揃い、関係者が一致協力して長い時間をかけて実現した事例です。

立地条件や自治体のご要望はそれぞれのモールによって異なりますので、開発前からみなさまと対話を重ね、地元の事業者さまとも協力できることがあれば積極的にチャレンジしています。自治体や地域住民のみなさまのご要望をできるだけモールづくりに反映し、それぞれの地域を象徴する商業施設となることをめざしています。

専務取締役 開発本部長  
岩本 馨





特集1

多様化する地域貢献

①ヘルス&ウェルネス  
～地域住民の健やかな生活のために～

お客さまの心身ともに豊かな暮らしのために  
イオングループが取り組む「ヘルス&ウェルネス」。  
当社でも広い商業施設を有効に活用した  
新たな取り組みを始めています。

📍健康を増進するモールウォーキング

イオングループでは、身も心も豊かに暮らせるまちづくりをめざす「ヘルス&ウェルネス」の理念を掲げており、当社では全国のモールで地域の方々の健康的な暮らしのためにさまざまなアプローチを模索しています。中でも、大規模な商業施設を有効に活用する取り組みとして「モールウォーキング」の活動を本格化しています。



📍イオンモールを地域の健康拠点に

地域のお客さまの健康拠点として、健康の基本「歩く」をテーマに、天候に左右されない安全なモール館内での各種ウォーキング教室や、モール周辺の心地よい環境でのまち歩きなどを地域ごとに実施しています。2016年度は約30モールで実施し、「モールウォーキング」として今後は本格的に全国のモールに拡大する予定です。グループ各社と連携した「イオン健康ポイント」の付与も2016年度は全国の自治体さまと連携し10拠点で開催し、2017年度はさらに拡大予定です。青森県では産官学連携による生活習慣予防モデルの効果検証なども実施しており、今後もお客さまの健康増進の拠点としてさまざまな取り組みを続けてまいります。



デジタル推進プロジェクトリーダー 兼  
ヘルス&ウェルネス推進プロジェクトリーダー  
石井 広幸

📍体と心の両面から健康をサポート

館内外に歩きやすいコースを設定し、一定間隔で距離やカロリー計算の指標となるサインを設置するなどハード面の環境を整えるとともに、たとえばタレントさんやスポーツ選手を招待して新しいお客さまがウォーキングに参加するきっかけにさせていただくなど、プランニングの面からもサポートしています。また、精神的な幸福感も追求するヘルス&ウェルネスの理念を実践するために、お笑いや落語を楽しんでいただいたり(P16参照)、イオンホールで照明を落としてヒーリングミュージックを聴くイベントを開催するなど、文化・芸術の振興も推進しています。



営業本部 マーケティング統括部  
イベントプランニング部 部長  
兼 体験創生プロジェクト  
宮嶋 佐知子

📍従業員を対象に「認知症介護サポーター養成講座」を実施 イオンモール猪名川(兵庫県)

2016年9月、イオンモール猪名川では、地域のキャラバン・メイトをお招きして、モール全体の従業員を対象とした「認知症介護サポーター養成講座」を実施しました。さらなる高齢化社会を迎え、身近でありながら誤解も多い認知症について、正しい知識を身につけるとともに実践的なロールプレイングを実施。受講した従業員が新たに認知症介護サポーターとなりました。



📍社会福祉法人 猪名川町社会福祉協議会 猪名川町地域包括支援センターのみなさま

ふだんは地域の自治会、学校などにお招きいただいて講座を行っています。認知症はそもそも病気ではなく、周囲の理解と支援があって地域で見守ることができれば安心して生活できます。そのことをみなさまに理解していただきたいと思います。



地域包括支援センター長  
地域在宅課係長  
山下 達夫様

近年では軽度認知症の期間が長くなる傾向にあるのですが、この期間を対象とした支援体制が整っていないのが実状です。近所の人やいつも行くお店の方に少しずつ助けてもらって、買い物や散歩が楽しめるような社会をつくっていきたくですね。



主任  
ケアマネジャー  
菅野 淳子様

家族が認知症になったことを隠そうとする方もいらっしゃいますが、これからは周囲の力も借りて、みんなで支え合わないと生きていけない時代です。認知症の方には目線を揃えて、笑顔で、大きな声で話しかけると、少しずつ心もほぐれてくると思います。

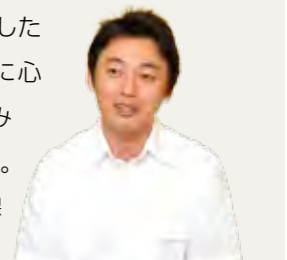


看護師  
主任ケアマネジャー  
山本 よしえ様

📍地域の課題を協力して解決

住民の高齢化は、どの地方自治体にとっても対策が急がれる課題のひとつになっています。人口3万人あまりの猪名川町でも、認知症の方が外出したまま行方不明になって捜索願が出されるような事案は頻繁に発生しており、行政や社会福祉協議会だけでなく、地域ぐるみ、町ぐるみの見守りや支え合いにご協力をいただく必要があると考

えているところです。そんな中で、町内で最も大きな事業者であるイオンモールさんがこうした取り組みをしてくださるのは本当に心強いですね。真剣に学ぼうとするみなさまの姿勢に感銘を受けました。



猪名川町 生活部福祉課  
主幹 澤 宜伸様

📍すべての従業員が同じ目線で

このモールで働くすべての方に同じ視点でお客さまに接していただきたいとの思いで、3ヶ月ほど前から計画を立てて専門店だけでなく清掃・警備・誘導などを担当する方にも受講していただきました。仕事で活かしていただきたいのはもちろんですが、誰にとっても今後ますます身近な問題になりますから、「自分のために勉強しましょう」と呼びかけました。最初はみなさま少し

戸惑っていましたが、終わったあとは「受講してよかった」と笑顔でした。これからも継続して認知症サポーターを増やしていくことが地域への恩返しにつながると考えています。



イオンモール猪名川  
ゼネラルマネージャー  
長岡 洋子

トップページ | 会社概要 | ニューモール | CSR | 特集1 | 特集2 | 特集3 | CSRの柱 | 地域と協力 | パートナーとの協力 | 社員の職場環境 | モールの安全管理 | 環境への配慮 | ガバナンス | データ集 | 会計報告 | 第三者意見



## 特集1

### 多様化する地域貢献

## ② 地域に欠かせない文化振興の拠点へ

ショッピングや食事を楽しむだけでなく、人々が集い、伝統や文化を育む場として。従来の商業施設の枠を超えて地域のニーズにお応えしてまいります。

### モール内に初めての市立図書館を新設 イオンモールつがる柏(青森県)

2016年7月、イオンモールつがる柏に「つがる市立図書館」がオープンしました。つがる市にとって初めての市立図書館であり、本館として公立図書館がイオンモール館内に開館するのは全国で初めての事例です。洗練されたデザインも大きな話題となり、オープン初日だけで約4,600名が来館され、2017年2月15日には来館者20万人を達成しました。



開館日:2016年7月29日  
面積:約1,606㎡  
蔵書数:約8万冊  
開館時間:10:00~20:00  
休館日:毎月最終月曜日  
(変更の可能性あり)



▲入口の脇にカフェを併設。休憩時のご利用はもちろん、ふたの付いたお飲み物は館内の一部をのぞき、持ち込むことが可能です。



▲地元の農家の方が配送に使う木製のリング箱を展示ボックスとして活用。温かみのある空間に溶け込んでいます。



▲貴重な郷土資料や、つがる市の基幹産業である農業に関する関連資料も豊富に取り揃えています。

### つがる市立図書館

#### 市民が待ち望んだ公立図書館

青森県つがる市は2005年に1町4村が合併して誕生しましたが、合併前の各町村も含めて、これがみなさまが待ちに待った初めての公立図書館です。想像以上に洗練された図書館になりました。柱まわりにリング箱を配置するなど、さりげなく郷土の特色を出したところも好評をいただいています。地元の中や高校には、生徒さんがおすすめする本に推薦文を手書きしたPOPを作っていました。ここで読書の習慣に親しみ、学業に励んでいただけたらと思います。イオンモールは暮らしを支える商業施設としてあらゆる世代の市民が集う場ですから、文化の発信拠点としての機能をますます発揮していただくことを期待しています。

つがる市教育委員会  
社会教育文化課長  
対馬 誠貴様



#### 気軽さと本来の機能を両立

商業施設の中に図書館の本館を作るというアイデアに新しい可能性を感じました。つがる市の人口は34,000人不足ですが、開館して約1ヶ月ほどでカードの利用登録が5,000人を超えました。ややもすると重苦しいイメージがあった従来の図書館とは一線を画した、気軽に入りやすい設計や雰囲気幅広く受け入れられたのだと思います。併設のカフェから飲み物を持ち込めるといった図書館の新しいスタイルに注目が集まっていますが、その一方で、情報でみなさまの役に立つという図書館本来の機能も大切にしたいと考え、日本十進分類法に基づいた配架を行うとともに、市の基幹産業である農業をはじめ職業支援に関する資料、郷土資料なども豊富に揃えています。特に近年では家庭と職場/学校の間地点となるサードプレイスの役割も図書館に求められており、当館もみなさまの憩いの場として利用されることを願っています。

つがる市立図書館 指定管理者  
株式会社図書館流通センター(TRC)  
業務責任者  
山下 幸子様



#### お客さまが交流する場として

構想が具体化したのはオープンの約1年前です。当初は具体的なイメージがわからず、うまくいか半信半疑でしたが、つがる市と関係者のみなさまと綿密な打ち合わせを繰り返し、徐々にこれはいいものができるという確信になりました。図書館の隣につがる市の出張所も併設していただき、市民のみなさまの利便性に配慮しています。ショッピングモールに書店と図書館が共存できるかという懸念もありましたが、むしろ協力して企画をするなど相乗効果を生み出す道を模索

べきではないでしょうか。これまでつがる市とはさまざまな交流がありましたが、今後は地域の学校や団体の活動をここで披露していただくなど、より市民のみなさまと深く交流して地域になくはならないモールへ発展させていきたいと考えています。

イオンモールつがる柏  
ゼネラルマネージャー  
加瀬 浩



### ● 関西でも2モールの館内に公立図書館が設けられています。

#### 伊丹市立図書館 西分室 イオンモール伊丹昆陽(兵庫県)



2011年開室。蔵書の約半数が児童書です。本館や分館で貸し出した本の返却、予約した本の受け取りなどの立ち寄りスポットとしても便利にご利用いただいています。

#### 茨木市立穂積図書館 イオンモール茨木(大阪府)



市内で5番目の図書館として2001年開館。2フロアにまたがって約9万冊の図書や視聴覚資料を所蔵。ショッピングのついでに気軽に利用できる」と好評をいただいています。





特集1

多様化する地域貢献

### ③ 地域と心ひとつに、世界に誇るイベントを

多くのお客さまにお集まりいただき、  
 情報発信の拠点として機能するイオンモール。  
 知らなかった世界にふれるきっかけや新しい体験を通して、  
 地域のみなさまの日々を豊かにします。

#### 📍 「イオンモール落語」の実施

2013年から開催している「イオンモール落語」は、桂福團治師匠一門が全国のモールを巡回してお客さまに古典落語・手話落語をお楽しみいただくイベントで、各地でたいへんご好評をいただいています。今年度はイオンモール沖縄ライカムで開催した際にイギリス出身の女性落語家・ダイアン吉日さんをゲストに迎えて初めて英語の落語を実施しました。また、出張公演として6校の小学校を訪ねて子どもたちに落語文化や手話にふれていただく機会をご提供しました。2017年度は出張公演を約10校に拡大予定です。



#### 🗣️ 誰もが手話に親しめる社会をめざして

声帯ポリープで一時的に声が出なくなった経験が手話を覚えるきっかけになりました。友達になった聴力障がい者にも落語をわかってほしい、笑ってほしいと思って手話落語をはじめたところ、おかげさまで少しずつ評判になって応援をいただけるようになりました。聞こえない方に楽しんでいただくとともに、健常者の方にも手話を広く浸透させたいと思っていますので、全国各地のイオンモールにお招きいただけるの

は本当にありがたいことです。みなさまが興味を持ってくださって、「見る言葉」として少しずつでも手話を使える世の中になったらいいなと思います。2020年の東京オリンピックで、「パラリン寄席」として世界に手話落語の文化を発信するのが私の夢なんです。

4代目 桂 福團治様

#### 📍 「伝統的工芸品展」を開催

主に手作りで製造され、日常生活で使われてきた工芸品の中から経済産業大臣が指定する「伝統的工芸品」。その魅力を身近に感じていただくために4モールで「伝統的工芸品展」を開催しました。展示販売や映像紹介のほか、友禅千代紙を用

いた工作やお茶の淹れ方のワークショップなどを体験していただきました。



#### 📍 ギネス世界記録®への挑戦 イオンモール寝屋川(大阪府)

38年間のご愛顧をいただき、2016年8月31日に一旦営業を終了したイオンモール寝屋川では、7月28日から4日間にわたって地域のみなさまとともに「星形に折った折り紙の最大の展示」のギネス世界記録®に挑戦し、成功を収めました。



#### 🗣️ 地域のみなさまと味わった達成感

私は寝屋川の出身で、地域には人一倍の愛着があります。小さい頃から遊びに来ていたイオンモール寝屋川が一時閉店するにあたり、お世話になってきた地域のみなさまと何か思い出に残るようなことができないかと考えてたどりついたのが、折り紙の展示による世界記録への挑戦でした。寝屋川市役所に何度も足を運んだ結果、市と地元の団体のみなさまで「寝屋川市SAKURA巨大アート実行委員会」を立ち上げ、市の木である桜のPRも兼ねてギネス記録に挑戦できることになりました。  
 ところがいざ始めてみると、折り紙を正確な星型に折るのは予想以上に難しく、最初に用意した折り紙約1万枚の8割以上が審査ではねられてしまいました。現場もかなり混乱し、

一時は記録達成はとても無理だと青ざめましたね。それでも約3,000名のお客さまや地域のみなさま、そしてボランティアスタッフの方々にご協力をいただいて、なんとか最終日に1万9,833枚の折り紙で作った巨大アートが完成し、世界記録を達成することができました。これが話題になったことでイオンモール寝屋川の一時閉店も広く周知され、多くのお客さまが思い出を懐かしんで来店されました。個人ではできない挑戦をさせてもらった会社、リスクを負って企画を通していただいた上司には、今も感謝の気持ちでいっぱいです。

イオンモール寝屋川  
 営業担当  
 岩谷 進伍



#### 🗣️ 38年間の感謝を込めて



各方面と綿密な打ち合わせをして一時閉店の準備を進めてきました。近隣に暮らす専門店の従業員や当社のスタッフが閉店を伝えるのは心苦しい面もありましたが、全員が最後までモールを盛り上げてやろうと一致団結してくれました。お客さまからはたくさんの思い出やエピソードが寄せられ、このモールがどれほど地域のみなさまか

ら愛されてきたかを実感しましたね。ほとんどの専門店が契約を延長して最終日まで営業を続けてくださり、館内は最後の瞬間までお客さまの活気に満ちていました。

イオンモール寝屋川  
 ゼネラルマネージャー  
 鷹城 直人





特集2

災害と向き合うモールづくり

①熊本地震の現場から

台風10号により23人の死者・行方不明者が出た岩手県、続けて3つの台風が上陸した北海道、梅雨に記録的大雨に見舞われた九州地方など、今年度も各地で多くの自然災害が発生しました。中でも被害が甚大だったのが、2016年4月14日以降に相次いで発生した熊本地震です。

📍 総力を結集した復興への取り組み イオンモール熊本(熊本県)

平成28年熊本地震において、イオングループは各自治体との包括協定に基づき、また東日本大震災での経験もふまえて緊急支援助物資の輸送を迅速に行いました。また被害の大きかった熊本県内のイオンモールでは、パートナー企業さまのご協力をいただき、1日も早い営業再開に取り組みました。



🗣️ グループを挙げて地域のために

最初の地震は4月14日の21時26分でした。私は仕事を終えてバスに乗っていましたが、横転するかと思うほど激しい揺れを感じ、ただごとでないタクシーに乗ってモールに戻りました。幸い営業終了後でしたが館内には専門店の従業員を中心に約300名の方が残っており、全員が避難できたか確認に追われました。

それから28時間後、再び震度7の地震に襲われたモールは天井が落下するなど深刻な被害を受けました。街では物流が機能しなくなり、飲料水さえ手に入りません。そんなとき、本社や九州・沖縄の事業部のみなさまが、モール事務所に必要な物資を運んでくれました。1,000人以上が避難していた付近の体育館、車中泊される方が集まった小学校にも物資が届けられたと聞き、イオングループの力を誇らしく思いました。当モールも車中泊をするお客さまのために駐車場を開放し、簡易トイレ

を設置しました。4月20日には食品だけでもお届けしようとイオン1階の一部をオープン。余震が続くストレスのなか一致団結して復旧を進め、7月20日の営業再開(館の約半分の店舗)を迎えることができました。モールが開いてお客さまがいる。そんな当たり前の光景がどれだけ幸せかを実感しました。あの大変なときこそ、地域のみなさまはイオンモール熊本やイオングループが何をしていたかをよく見ていて、いつまでも忘れないのではないかと思います。おかげさまで2017年3月24日、当モールは生まれ変わって全館オープン(準核除く)しました。これからもみなさまとともに地域の復興をめざしてまいります。

イオンモール熊本  
ゼネラルマネージャー  
河野 学



📍 お客さまをつなぎとめた「コンテナモール」

2016年9月28日、イオンモール熊本ではモール駐車場の敷地(約9,800㎡)に大小7個のコンテナを設置した「コンテナモール」をオープンしました。ファッション、雑貨、飲食など7店舗が出店するほか、大型イベントスペースも配備し、地域のみなさまのコミュニケーションの場としても機能しています。



🗣️ ご期待に応える楽しい売場に

イオンモール熊本は7月20日に東側がオープン。その時点では、まだ西側の専門店が営業していない状況でした。このままでは専門店従業員の雇用がなくなり、お客さまも私たちのモールから離れてしまう。そんな危機感を覚え、何かできないかと必死に考えました。先行して営業を再開したモール東側では、管轄の消防と相談のうえ、通路だった共用部にも仮設店舗を営業できるスペースを作りました。それでも増やせる空間には限界があります。そんなとき、建設会社が事務所として使用していた屋外コンテナを見て、これを店舗として利用できないかと思いつい

たのです。お客さまのご期待に応える楽しい売場にするためにコンテナに色とりどりの装飾を施したほか、イベント用のテントや芝生エリアも整備し、専門店さんの全面的なご協力をいただいてオープンすることができました。従業員さんには、またイオンモール熊本で働くことができ嬉しいという感謝の声をいただきました。

イオンモール熊本  
活性化推進マネージャー  
井手 あゆみ



🗣️ 一致団結して早期の営業再開を実現 イオンモール宇城(熊本県)



イオンモール宇城では、震災翌日から営業統括部長をはじめ応援の社員が続々と入って、さまざまなサポートをしていただきました。特に各専門店ごとの商品の搬出や貴重品の取り出しなど、細かいスケジュール管理をしていただけたのが助かりました。そこから営業再開を5月25日と定め、専門店のみなさまには近隣から応援を呼び寄せていただくなどたいへんな尽力をいただきました。オープン当日、お客さまや従業員の笑顔を見たときは感無量でした。ずっと誰も

いない寂しいモールを見てきましたから、やっぱりこうでなくちゃ、モールはお客さまのためにあるのだから、と思いました。7月・8月は前年に比べて約1.3倍のお客さまにご来店いただきました。

イオンモール宇城  
ゼネラルマネージャー  
城 尚昭





特集2

災害と向き合うモールづくり

## ② 継続する 被災地復興支援 (宮城県東松島市)

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県東松島市。当社では2013年より、全国のお客さまからのご協力もいただいて、同市および市民のみなさまが取り組むさまざまな活動を継続して支援しています。

### 「共助」の精神で復興に尽力

長らく仮設住宅で暮らしていた市民の新しい住まいとして、2014年の春から全1,010戸の災害公営住宅への移転を段階的に進めてきました。2017年の夏にはすべての方の入居が完了する予定です。この公営住宅は高齢者も想定してバリアフリーにも配慮しており、すでに転居した方からは「やっと安心して快適に生活できる」という声が届いています。東松島市では震災前から自治コミュニティの強化に取り組んでおり、被災時にも「共助」の精神のもと、住民主体で行方不明者の確認や避難所の運営などを行いました。今回の集団移転も、行政主導ではなく住民の話し合いを中心として各地で新たなまちづくりを進めてきました。集団移転の開始から完了までに3年以上の時間を要することなどは、なかなか正確に報道される機会がありません。そんな中で被災地の状況を風化させることなく情報発信を続けてくださるイオンモールさんには深く感謝しており、

経済的な支援のみならず、市民の想いを全国に届けてくださるパートナーだと考えています。震災当時は、人の命はマニュアルでは救えないということをもっと実感しました。かつては、決断して行動し、その結果に責任を取るのがリーダーだと思っていましたが、今では逆に「責任を取る覚悟があればこそ、決断も行動もできるのだ」と認識しています。これまでに全国・海外から多くのご支援をいただき、世界の「共助」が機能したことを実感しました。あらためてみなさまに感謝するとともに、この精神がこれからの新しい社会づくりにも取り入れられることを心から願っております。



東松島市長 阿部 秀保様

### ステッチガールズプロジェクト

クロスステッチ刺繍で地域の女性のための新たな産業を興し、活躍の機会を創出するプロジェクト(運営:一般社団法人 東松島みらいとし機構)。当社では首都圏のモールでワークショップや展示販売を実施し、この活動を広くお客さまにご紹介しています。

首都圏のイオンモールで実施したワークショップでは、まず館内の広さと人の多さに驚きました。針の持ち方から始まり、飽きないように根気よく進めて、最後の達成感を一緒に味わうのが何よりの喜びです。今は仮設の店舗をカフェとして拠点にしていますが、将来的には長く活動できる場を整備して、東松島といえばステッチの盛んな地域だと言われるようにアピールしたいです。

【左より】門馬 政子様/菅原 由美子様/新妻 佳子様/小野 たか子様/森 由佳様



### 「写真で伝える被災地」の活動を支援

現在高校3年生の中村綾杜さんを代表に活動し、東松島市や周辺地域の情報を発信している「写真で伝える被災地」。当社では全国のモールにおける写真展開催や各種の企画を通じて、中村さんおよび同団体の活動を支援しています。



東日本大震災を経験したのは小学5年生のときです。父から譲ってもらったカメラで写真を撮りはじめ、さまざまな応援をいただいて今では多くの人に見ただけになりました。

被災地の悲しみだけでなく、復興の様子を正確に伝え、見てくれる人を笑顔にしたいという気持ちで写真を撮り続けています。東松島でも復興は進んでいますが、多くの方が報道からイメージ

しているほどではありません。まだ沿岸の高上げも終わっていませんし、仮設住宅と新しい家が道を挟んで向き合うような光景も見られます。みなさんから忘れられることなく安心な生活を取り戻してこそ「復興」と言えるのではないのでしょうか。どこかでまた震災が起きたとき、私たちの経験が活かされて犠牲者がひとりでも少なくなることを願って、これからも活動を続けていきたいと思っています。

「写真で伝える被災地」代表 中村 綾杜様



### 「おのくん」制作の現場から

東松島・小野駅前応急仮設住宅で作られて全国へ旅立つソックモンキー「おのくん」。全国のイオンモールで靴下や綿などの材料を回収して東松島へお届けしています。今回は長く制作に携わるお母さまたちにお話を伺いました。



難しいのは口の部分ですね。当初は本当に売れるか不安でしたが、楽しんで制作してきました。仮設住宅での暮らしも残りわずかとなり、転居には不安もありますが、新しい住まいを楽しみにしています。

高橋 妙子様



作ったものが売れるのはもちろん、「里帰り」として遠くから連れて来てくれたりすると喜びもひとしおです。ここにいる仲間とはすっかり気心が知れたり仲間になり、チームワークが良いのが自慢です。

土井 ふみ子様



2年ほど前に新しい家に入居しましたが、仮設住宅に通って作業をしています。みんなで他愛のないおしゃべりをしながら作るのが楽しいんです。これからも制作は長く続けていきたいですね。

木村 恵子様



### 「空の駅」建設に向けて

「おのくん」制作の拠点を仮設住宅から引き継ぐとともに、新たな地域の交流拠点の設立をめざす「空の駅」建設プロジェクト。当社では、全国のモールでお客さまから募金をお預かりするなど継続的な支援を続けています。



震災から6年余り、小野駅前応急仮設住宅では2017年夏にすべての方の転居が完了する予定です。「おのくん」の制作現場だった集会所は全国から毎年約2万人の方が訪れる

交流拠点になっていましたので、その役割を引き継ぐ場として「空の駅」の建設準備を急いでいます。そんな最中に発生した熊本地震では、これまで全国からいただいた支援への感謝を

込めて物資を現地にお送りしたほか、「おのくん」の積み木を届けるなどのお手伝いをさせていただきました。みなさまから「応援してよかった。また東松島に遊びに行こう」と思っていただけに、これからも一歩ずつ前進してまいります。

小野駅前郷プロジェクト 共同代表  
【右】武田 文子様  
【左】新城 隼様



### 従業員対象のスタディツアーを実施

2016年11月、当社従業員16名が3日間にわたって東北の被災地を訪れました。イオンモール石巻で震災に対応した従業員の体験談や東松島で復興に取り組む方々のお話などを伺い、当社としてこれから何ができるかを話し合いました。

インタビュー 会社概要 ニューモール CSR/アソシエーション 特集1 特集2 特集3 CSR/CSR柱 地域と共生 パートナー協賛 社員の職場環境 モールの安全管理 環境への配慮 ガバナンス データ集 会計報告 第三者意見



特集2

災害と向き合うモールづくり

### ③グループを挙げた災害対策の強化

イオングループでは自然災害への対策をさらに強化し、グループ外の企業さまとの協力も積極的に進めています。大型ショッピングモールを全国に展開する当社は、こうしたグループの取り組みと連携して、各モールが地域の防災拠点としていっそう有効に機能することをめざしています。

#### 📍 JALとイオン株式会社が緊急物資の輸送に関する覚書を締結 JAPAN AIRLINES ×



#### ● 航空会社と小売業の新たなパートナーシップ

2016年3月、日本航空株式会社 (JAL) とイオン株式会社は、有事の際に協力し、緊急物資の輸送にあたることを定めた「緊急物資の輸送に関する覚書」を締結しました。これは、災害発生に伴い地域住民が避難している場合などに、イオンは緊急物資の国内空輸をJALに依頼し、JALは一定の条件下で協力することなどを確認したもので、航空会社と小売業が同様の取り決めを締結するのは国内初の事例です。

#### ● 素早い初動で緊急物資を空輸

この覚書を締結してから約1ヶ月後に発生した熊本地震では、直後より熊本県、熊本市、大津町、御船町、大分県や、経済産業省、陸上自衛隊、日本赤十字社など計11団体から約530万個の緊急支援物資要請を受託し、外部パートナーのみならず協力して生活必需品をお届けしました。JALには搭載便を手配いただき、発災から5日間で計49便を利用して緊急支援物資や店舗販売用商品を空輸しました。

#### ● 速さと積載能力を災害支援で発揮

4月16日には熊本県上益城郡御船町からの要請を受け、JALのご協力のもと、緊急避難用大型テント「バルーンシェルター」を羽田空港から長崎空港へ空輸しました。避難場所である御船町ふれあい広場までは、長崎県の陸上自衛隊にトラック輸送にご協力いただき、グループ企業のイオンディライト株式会社がバルーンシェルターを設置。迅速に一時避難場所を提供しました。また、毛布3,000枚を熊本空港に空輸し、陸上自衛隊のご協力で熊本県民総合運動公園の支援物資集積場にお届けしました。

#### 📍 イオン株式会社が「ISO22301」認証を取得

2017年2月、イオン株式会社は、本社機能と店舗を含めた取り組みとして国内総合小売業で初めて事業継続マネジメントシステム(BCMS)の国際規格「ISO22301」認証を取得しました。グループ危機管理業務とイオンモール幕張新都心におけるショッピングモールの運営および管理業務、総合小売業、総合ファシリティマネジメントサービスを活動登録範囲として取得したものです。

#### 📍 復興の象徴となる防災モールとして (仮称)イオンモールいわき小名浜(福島県) 2018年夏オープン予定

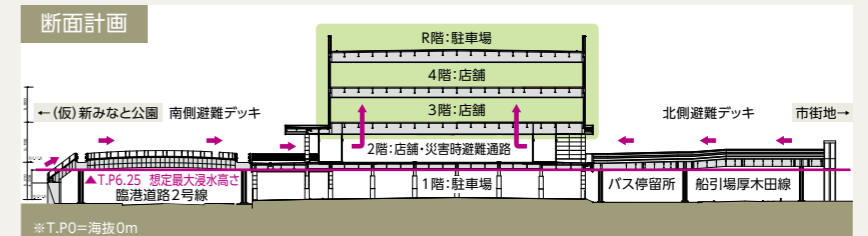
2016年8月、東日本大震災で津波被害を受けた「小名浜港背後地震災復興土地区画整理事業」地内で「(仮称)イオンモールいわき小名浜」の本格的な建築工事に着手しました。同モールは「小名浜港背後地開発ビジョン」における都市センターゾーンに位置づけられています。「小名浜みなとまち“周遊”モール」をコンセプトに、復興のシンボルとして「活気溢れる都市拠点づくり」に寄与するとともに、文化・情報・楽しさを融合した防災モールを実現してまいります。



#### 📍 防災モールとしての取り組み

##### ● 一時避難ビルとしての対応

災害時には避難デッキと接続した店内通路を開放し、避難してきた方々を一時的に受け入れる機能を有しています。3階～4階(店舗)、屋上階(駐車場)が避難階となります。

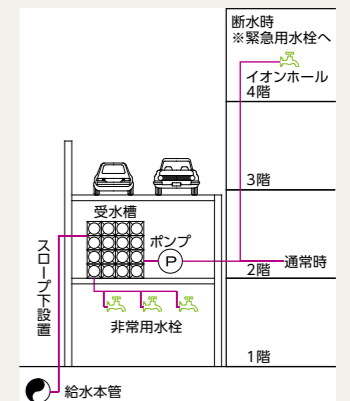


##### ● 重要機器設置位置の対応

津波による浸水被害を受けた際にも施設機能を維持し、地域の復興拠点のひとつとしての役割を担うことができるよう、受変電設備や受水槽などの重要機器を想定最大浸水の高さより上に配置します。

##### ● 震災時の復興拠点としての機能確保

震災時の緊急対応を想定してお客さまの安全・安心を守るため、防災設備、セキュリティシステム、給水設備などの各種設備、また防災センターやイオンモール事務所などの主要な管理室およびイオン食品売場などに非常用発電機による電源供給を最優先で行います。また、断水・停電時でも、受水槽の水を飲料専用として4階緊急用水栓に供給。非常用電源の供給が止まった場合でも、受水槽付近に設置した非常用水栓より飲料水を供給できます。さらに館内のイオンホールは非常用電源で照明・空調・給水・携帯充電用コンセントが利用できるため、避難された方の休息所として活用できます。





特集3

# 海外モールの最新動向

2008年に中国・北京市に海外第1号店をオープンして以来、既存モールの成功を背景に、中国およびアセアン各国で順調に出店を続けています。最新の環境設備も含む先進的なモールづくりによって各国で新たな価値を創造するとともに、マネジメントの現地化も積極的に推進しています。

📍 ホーチミン3号店 先進のエンターテインメントモール イオンモール ビンタン(ベトナム・ホーチミン市)



2016年7月のオープンから半年間で840万人のお客さまにご来館いただきました。「広くてきれいで感激した」という声をたいへん多くいただいています。当モールは、安全・安心にショッピングをお楽しみいただける環境づくりにおいて、これまでのベトナム国内の商業施設にない高水準な環境をご提供できていると自負しています。電力事情が不安定な当地の状況をふまえ、バックアップ用の回線を備える2回線受電を行うとともに、停電や災害が発生した場合には非常用発電機によってモール内で使用する電力をバックアップする態勢を整えています。また、万一火災などが発生した場合、建物に不案内なお客さまを安全に避難誘導、救出救護し、初期消火

を行うことを目的に、「自衛消防組織」を全従業員で構成するなど、ハード・ソフトの両面から安全性の確保に努めています。また、ベトナム国内のイオングループのショッピングモールで初めて太陽光発電設備を採用したほか、照明やサインのLED化、高効率空調機の採用など、先進的な環境設備を導入しました。加えて、館内のごこからでもグリーンが目に入るよう各所に植栽を配置し、お客さまからも好評をいただいています。

イオンモール ビンタン  
ゼネラルマネージャー  
川端 真也



▲開放的なテラス席を擁するピアレストランを核テナントにしたアウトモール。壁面や柱も緑化し、環境と景観に配慮しています。



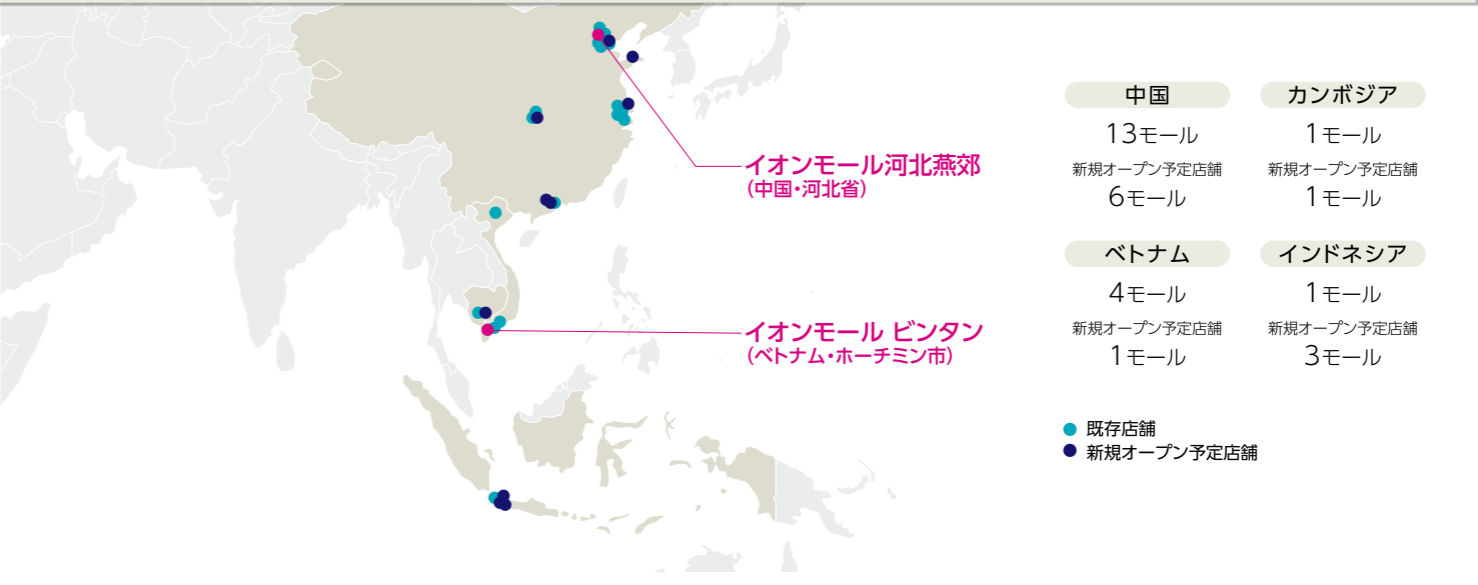
▲駐車場、バイク駐輪場屋根に合計約320kWの太陽電池モジュールを設置。年間約270トンのCO<sub>2</sub>削減をめざします。



▲3階レストランゾーンの中に、森をイメージしたフォレストパークを配置。常に近くに緑が感じられる居心地のよい空間をご提供します。



▲エコインフォメーションでは、太陽光発電の稼働状況をはじめ、さまざまな環境への取り組みをお客さまにご紹介しています。



📍 ローカルスタッフの主導で河北省1号店をオープン イオンモール河北燕郊(中国・河北省)



私は中国1号店からイオンモールで仕事をしており、今回は初めて中国人の開設委員長として新規モール立ち上げの責任者に就任しました。日本発の商業施設の高水準なサービスや安全・安心を現地のみなさまに実感していただこうと、約20名の中国人スタッフがチームワークを発揮し、開発、建設、リーシングなどの各部署と連携して準備を進めました。人材のローカライズを進めるうえで大切なのは、なんといってもチームワーク、そしてコミュニケーションによる信頼関係です。政府との交渉、専門店との協議、お客さまへの対応、すべてにおいて丁寧な対話を重ね、地域社会で確かな信頼のネットワークを構築すること。それが長期的な成功を収めるための

条件になると考えています。中国でも環境に対する意識が高まっており、ごみの分別や廃電池の回収に多くの方からご協力をいただけるようになりました。同時に健康に関心を持つ方が増えており、「スモッグが発生すると安心して散歩できる場所がない」というお客さまの声に応えたウォーキングコースがたいへん好評をいただいています。

イオンモール河北燕郊  
ゼネラルマネージャー  
王 勇



▲健康増進を兼ねてモールを楽しく歩いていただけるよう、館内に約640mのモールウォーキングコースを設定しました。約50mごとに歩いた距離と消費カロリーを表示した道標をベンチとともに配置しています。



▲人気のブランドが一堂に集まるスポーツゾーンのシンボルとして館内にバスケットボールコートを設置しています。



▲お体の不自由なお客さま専用駐車場を51台設置。車室の幅を広げ、開閉を遠隔操作できるゲートバーを備えています。

トップメッセージ 会社概要 ニューモール CSR活動 特集1 特集2 特集3 CSRの柱 地域と市民 パートナーの協賛 社員の職場環境 モールの安全管理 環境への配慮 ガバナンス データ集 会計報告 第三者意見



## イオンモール CSRの「5つの柱」

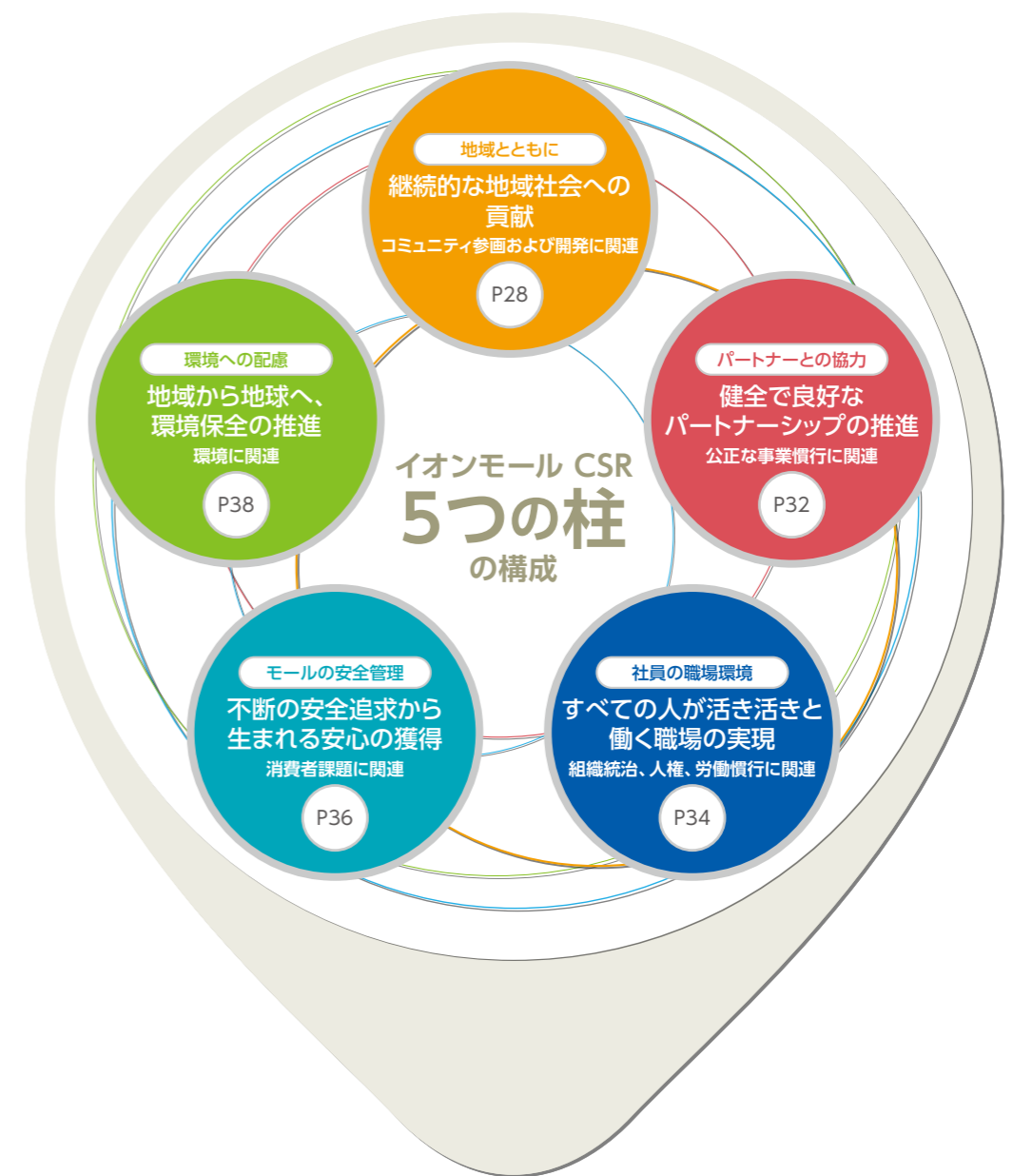
ISO26000に対応する「5つの柱」をベースに、社会的責任を果たしてまいります。

私たちの仕事は、  
 ショッピングモールを通して、地域とともに  
 「暮らしの未来」をつくること。

そのためには、地域社会との確かな信頼関係づくり、  
 環境への配慮、安全性のさらなる向上などに対する  
 継続的な取り組みが必要です。

従って、当社では本来の企業活動とCSRが密接にかかわっており、  
 あらゆる部署の従業員が日常の業務を通して社会への責任を  
 果たすことが求められています。

このような考えから、当社では社会的責任に関する初めての  
 国際規格であるISO26000をふまえて、5つの柱をベースに  
 CSR活動を推し進めています。



● ISO26000が定める7つの中核主題

- |           |         |                 |      |
|-----------|---------|-----------------|------|
| 1.組織統治    | 2.人権    | 3.労働慣行          | 4.環境 |
| 5.公正な事業慣行 | 6.消費者課題 | 7.コミュニティ参画および開発 |      |

## 継続的な地域社会への貢献

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。

### 地域経済の活性化

新しいモールのオープンには地域に安定した雇用を創出し、税収や人口の増加にもつながります。専門店も全体の約3分の1は地域からの出店になるよう配慮するほか、多くの仕事が地元企業に発注されるなど、広範囲に効果を及ぼします。

### 公的サービスの拡充

地域インフラの一翼を担う商業施設として、銀行、郵便局、医療機関、自治体の行政サービスコーナーなど、公共性の高いサービスも広く導入しています。

#### 期日前投票所を設置

2016年7月に実施された参議院議員通常選挙では、全国29のイオンモールに期日前投票所を設置し、選挙に参加しやすい環境のご提供に寄与しました。また、改正公職選挙法の施行を受けて、初めてイオンモール津田沼(千葉県)が投票日当日の投票所に指定されました。



#### モール内で成人式を実施

2017年1月、イオンモール京都桂川(京都府)のイオンシネマを会場として向日市の成人式を実施しました。休館している市民会館に代わって会場に選定されたもので、新成人の394名がご参加されました。またイオンモール日の出(東京都)でもイオンホールを会場として日の出町の成人式を毎年実施しており、2017年の成人式には138名が出席されました。



### 地域の美しい環境を未来へ

「クリーン&グリーン活動」の一環として、毎月11日のイオンデーには、専門店従業員のみならず、モールの周辺の歩道や公園、植樹帯などの清掃活動を行っています。



#### 海水浴場の清掃を実施

イオンモール富津(千葉県)では、過去30回以上にわたって夏の海水浴シーズンの前後に富津海岸海水浴場の清掃を実施しています。



### 地域の魅力を磨くモールの独自企画

当社が経営ビジョンのひとつに掲げる「究極のローカライズへの挑戦」を実現すべく、各モールの若手社員やフレックス社員(パートタイマー)が中心となって地域の魅力がもっと輝く企画づくりに取り組んだ「究極のローカライズ2016」。昨年度をさらに上回る197の応募の中から16企画を厳選して実施しました。

#### 優秀賞 「究極のみかん対決～和歌山vs愛媛」イオンモール和歌山(和歌山県)/イオンモール今治新都市(愛媛県)

和歌山のみかんと愛媛のみかんの対決でお互いの地域を盛り上げよう。そんな前例のない企画が、有田市とJAおちいまばりの後援をいただいて実現しました。イベント当日は、両モールで先着1,000人のお客さまがみかんの味比べを楽しむとともに、ご当地キャラクターが会場を盛り上げ、和歌山では約1,500人、今治新都市では約1,100人のお客さまを集める盛況ぶりとなりました。どちらの地域もみかんには特別な思いがあ

るだけに開催前から話題となり、イベントの様子は多くのメディアで報じられました。ご協力をお願いした有田市とJAおちいまばりのみならず、さらにも良いPRができたことと評価していただきました。



お客さまからは「比べてみるとぜんぜん違う!」という感想が目立ちました。このイベントを通して地元のみかん、そして他県の産品にも興味を持っていただき、「選ぶ楽しさ」を感じていただきたいと思います。

イオンモール和歌山  
営業担当 北川 知子



食べ比べを通して両県の魅力を発信するのがイベントの趣旨でしたが、想定以上に「勝敗の結果はどうなんだ」という見方をされることが多かったです。経験をふまえて、さらに強い企画へ成長させていきたいです。

イオンモール今治新都市  
営業マネージャー 伊東 昭



#### 優秀賞 「広がる!岡崎バレーボールの輪」イオンモール岡崎(愛知県)

かねてより学校の部活動やママさんバレーを通して盛んだった岡崎のバレーボール文化をさらに盛り上げ、地域のみなさまの健康に貢献することを目的として企画しました。スポーツオーソリティの専属トレーナーによるママさんバレーボールチームへのサポートや、VチャレンジリーグI所属の女子チーム「デンソーエアリービーズ」の選手たちをモールに招待してファンミー

ティング、1日店長など、お客さまとふれあう応援企画を実施。さらに、10年間にわたって中断していたママさんバレーの新人戦を「フレッシューズ大会 復活記念イオンモール杯」として再開する予定です。



入社1年目で企画を立案しました。地域のみなさまが好きなおこと、夢中になれることは何かを考えてテーマを見つけ、思い描いたとおりのイベントを予算内で実施するために、上司や先輩に相談しながら工夫を凝らしました。デンソーエアリービーズのみなさまからは、「想像以上に大き

なイベントで応援していただけて嬉しい」というお言葉をいただくことができました。

イオンモール岡崎  
オペレーション担当 中本 楓弓



### 2016年度募金活動結果(全国のイオンモール合計)

■東北復興応援 空の駅建設応援募金①	2016年3月14日～2016年4月1日	3,997,132円
■ミャンマー学校建設支援募金	2016年4月2日～2016年4月14日	1,285,367円
■熊本地震緊急支援募金①	2016年4月15日～2016年4月24日	47,921,000円
■熊本地震緊急支援募金②	2016年4月25日～2016年5月31日	48,865,363円
■東北復興応援 空の駅建設応援募金②	2016年6月1日～2016年6月10日	780,329円
■24時間テレビ チャリティー募金	2016年6月11日～2016年9月4日	33,612,658円
■台風10号被害緊急支援(東北地方のみ)	2016年9月5日～2016年9月20日	527,460円
■北海道台風被害緊急支援(北海道のみ)	2016年9月8日～2016年9月25日	118,880円
■イタリヤ中部募金緊急支援(東北・北海道・九州を除く)	2016年9月7日～2016年10月2日	3,523,484円
■イオンセーフウォーターキャンペーン	2016年10月4日～2016年10月30日	2,670,503円
■鳥取県中部地震緊急支援	2016年10月24日～2016年11月20日	122,762円
■アジア障がい者支援募金	2016年11月5日～2016年12月4日	3,154,696円
■東北復興応援 空の駅建設応援募金③	2016年12月5日～2017年2月10日	3,566,637円
■糸魚川大火事緊急支援募金(新潟県のみ)	2016年12月24日～2017年1月9日	85,756円
■グラウンドを作るプロジェクト支援募金	2017年1月28日～2017年2月28日	379,361円
<b>合計</b>		<b>150,611,388円</b>

## 継続的な地域社会への貢献

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。

### マイク アイオン1%クラブによる活動助成

アイオン1%クラブは地域のお客さまのご愛顧によって得られた利益を社会の発展に持続的に活かそうという理念のもとで1989年に設立され、規模の大小にかかわらずグループ企業が税引き前利益の1%を拠出して社会貢献活動を行っています。2015年には公益財団法人へ移行し、「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域・社会の持続的発展」を柱として社会全体に貢献する活動を展開しています。

アイオングループ各社の中でも、アイオンモールの商業施設は直接

お客さまと接する「場」を持っているという点でNPOや行政の方々から注目をいただいております。公益に資する各モールの地域貢献活動については当財団が助成しています。東北や熊本の災害復興支援においても、アイオンモールがグループの旗振り役となって貢献していただくことを期待しています。

公益財団法人 アイオンワンパーセントクラブ  
事務局長 本田 陽生氏



### アイオン1%クラブによる助成で実施された地域貢献活動(一例)

#### つがる市馬市まつり

アイオンモールつがる柏(青森県)  
2016年8月26日~28日

つがる市最大のまつり「馬市まつり」では、市民のみなさまとともにアイオンモールチームとして「馬ねぶた」のパレードに参加。夜にはモールの駐車場で「新田火まつり」が行われ、「馬ねぶた」に点火し、農耕馬の霊を弔いました。



#### おおむた大蛇山まつり

アイオンモール大牟田(福岡県)  
2016年7月16日~24日



第55回を迎えた大蛇山まつりは、約40万人を集客する筑後地方屈指のイベントです。モールと港まつり会場を往復する無料シャトルバスを運行したほか、初めてアイオンモール大牟田チームとして「1万人の総踊り」に参加し、地域のみなさまと交流しました。

#### とこなめ焼・招き猫祭り

アイオンモール常滑(愛知県)  
2016年9月17日~19日



日本六古窯のひとつ「常滑焼」と、常滑が生産量日本一と言われる「招き猫」の魅力やPRする第1回のイベントとしてモール館内8ヶ所で開催。体験や実演も交えて、3日間で10万人以上のお客さまが地元を代表する工芸の魅力にふれました。

#### 新居浜太鼓祭り

アイオンモール新居浜(愛媛県)  
2016年10月15日~18日



50台以上の豪華絢爛な太鼓台が市内を練り歩く「新居浜太鼓祭り」は四国三大祭りのひとつ。モール駐車場に川西地区の太鼓台が列を成して登場し、勇壮な揺き比ベコンテストを行う「アイオンモール夜太鼓」を開催。来場者は5万人を超えました。

### 各モールの地域貢献活動(一例)

#### からあげフェスティバル アイオンモール三光(大分県) 2016年9月17日~18日

からあげの聖地と呼ばれる大分県中津市のアイオンモール三光で毎年開催している「からあげフェスティバル」。中津市・宇佐市だけでからあげ専門店が約60店舗もある独特の食文化を盛り上げようとアイオンモール三光が協力して立ち上げたイベントは、2011年にはからあげ供給量のギネス世界記録®を達成して話題になりました。第9回大会はアイオンモール三光の20周年記念として開催され、中津市・宇佐市などを中心に26店舗が一堂に集結し、2日間で約3万人のお客さまが味比べを楽しみました。



暑い時期に食品を扱うので衛生面の安全管理には気を配っています。せっかくの楽しいイベントも事故が起きると続けられなくなってしまいますので、消防とも入念な打ち合わせをし、消火器の配備なども徹底して開催しています。

アイオンモール三光  
ゼネラルマネージャー  
入船 幸



8歳から「からあげの聖地」中津市で育ち、親戚や友達が集まれば、お気に入りのお店でからあげを買っています。第1回からこのフェスティバルに携わり、「中津からあげ」が全国的なブランドになるうえでお役に立てればと毎年開催してきました。2017年は10回を迎えさらに盛り上げていきます。

アイオンモール三光  
営業マネージャー  
川野 妙美



#### 木製玩具「ミエトイ」のワークショップ

アイオンモール東員(三重県)



本物の木の良さをお子さまに味わっていただく「木育」の一環として、三重県産材の木製玩具(ミエトイ)を集めたワークショップなどを開催。ミエトイの楽しさを存分に体感していただきました。

#### 出雲市・稲佐の浜清掃活動

アイオンモール出雲(島根県)



出雲大社から西へ約1km、国譲り神話の舞台としても知られる稲佐の浜。海水浴シーズンが終わった2016年10月にモール従業員82名で清掃活動を行い、多くのゴミを集めることができました。

#### 赤十字の活動体験イベント AEON SANO FESTAを開催

アイオンモール佐野新都市(栃木県)



2016年6月、日本赤十字社のご協力により、AED(自動体外式除細動器)の使用や災害時に役立つ便利グッズの作成などが体験できるイベントを開催。約700名のお客さまが参加しました。

#### 専門店従業員を対象とした実践的な防災訓練の実施

アイオンモール プノンペン(カンボジア)

有事の際にお客さまと自身の安全を確保するために、実際に火を使った消火器の訓練大会や、日本式の訓練を受けた救急レスキュー/消防隊員との合同訓練を実施しています。



#### お客さま向けのレンタルサイクルを設置

アイオンモール北京豊台(中国)

お客さまに便利なサービスを提供するため、モールの西側にセルフレンタルサイクルのスポットを設置。身分証明書と交通系ICカードで自転車をレンタル利用していただいています。





## 健全で良好なパートナーシップの推進

私たちはこれからもパートナーと一緒に、普遍の倫理に基づき、さまざまな国の商習慣にも配慮しつつ健全で一層強固な協力関係を築きます。



### 同友店従業員の職場環境向上のために



イオングループの商業施設にご出店いただいている専門店を会員として組織される「イオン同友店会」では、2016年6月に「ダイバーシティ推進部会」を新設しました。イオングループの商業施設を同友店のスタッフが働きやすい職場とし、ライフステージが変わっても働き続けやすい環境にすることを目的とするもので、委員は専門店と当社関連部署から約半数ずつ選出され、定期的に部会を実施しています。

部会で決定された取り組み施策の一部を、2016年12月にオープンしたイオンモール長久手において具現化しました。

#### ● 休憩室の充実



一人でも食事やリフレッシュができるように、休憩室のテーブルに適度な間仕切りやUSBジャックを設けました。

#### ●パウダールーム・リラックスルームの設置



ゆとりをもって仕事の準備ができるよう、女性用のパウダールームや男女別のリラックスルームを設置しました。

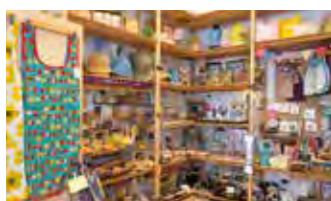
#### ● 育児サポート



同じ館内に小さなお子さまを預けて安心して働ける「イオンゆめみらい保育園」(P35参照)を設置しました。

#### ● 家族特典の提供 従業員のご家族も割引や各種サービスが受けられる「ファミリーカード」を全従業員に配布しています。

### 障がい者施設が共同運営する専門店がオープン イオンモール堺鉄砲町(大阪府)



2016年3月にオープンしたイオンモール堺鉄砲町。その一角にある福祉アンテナショップ「Passer (パッセ)」は、堺市にある約30の障がい者施設(事業所)の共同運営で、雑貨を中心に、お菓子、縫製品、アクセサリー、小物などを販売しています。

地域の障がい者施設が生産する授産品を販売する場がなくて困っていたところ、イオンモール堺鉄砲町がオープンする際にお声がけをいただき、新たに出店できました。お客さまが気軽に立ち寄り、活動を広く知っていただく拠点ができたことで、商品を作る事業所のみならずこれまで以上に張り切っています。イオンモールさんには、さまざまな面で店舗運営のサポートをいただいています。



堺市健康福祉局 障害福祉部  
障害者支援課 生活基盤推進係 副主査  
河瀬 桂子様

モール内のショップにふさわしく、明るくやさしい色づかいの店舗になりました。広くはありませんが、そのぶんお客さまとの距離感が近いですね。アレルギー成分を含まないお菓子を買に来るお子さま連れのお母さま、アクセサリーを探しに来る若い女性、学校帰りの中高生など、幅広い層のお客さまと出会うことができている。どんどん外に活動を発信して、企業とのつながりなども持てたいと考えています。



Passer (パッセ)  
店長  
宇田 明日香様

### 接客技術の向上をめざして

小売に精通するディベロッパーとして、各モールでは専門店にさまざまな情報やアドバイスをご提供するとともに、モール全体として接客技術向上に取り組んでいます。その一環として行う「接客ロールプレイングコンテスト」は、広範な業種におよぶ専門店を対象とし、日頃培った接客技術を競い合って厳正な審査によって表彰する大会で、接客に対する意識の向上とともに、優れた事例やノウハウを共有化することで全体のレベルアップを図っています。

#### ● 第6回イオン同友店ロールプレイングコンテスト全国大会(2016年11月9日)

全国約29,000店のスタッフを対象に、接客技術を競う国内最大規模のコンテストを開催。現場力の強化を図るべく、同友店スタッフの接客技術向上をめざして開催しています。



#### 受賞者一覧(敬称略)

最優秀賞 田邊 望 [タリーズコーヒー]  
第2位 政岡 夏未 [イング]  
第3位 竹本 陽一 [ザショップティーケー]  
第4位 上野 葉月 [レブシム]  
第5位 清村 康二 [築地 銀だこ]

イオンモール旭川西  
イオンモール高知  
イオンモール伊丹  
イオンモール銚子  
イオンモール大垣



#### ● 中国で初めての全国大会を開催

2016年12月、従業員のサービスマインドのさらなる向上をめざして、イオンモール北京豊台(北京市)で「第1回イオンモール中国 接客ロールプレイングコンテスト全国大会」を開催しました。中国に展開する13モール、約2,200店舗の従業員約3万人を対象としたもので、厳しい予選を勝ち抜いた各モールの代表2名、合計26名が出場しました。



#### ● カンボジアでも初めてコンテストを実施

アセアンの1号店として2014年にオープンしたイオンモール プノンペンでも初めての接客ロールプレイングコンテストを実施しました。104の専門店から304名の従業員が参加し、2016年10月に開催した決勝大会では10人が最終決勝に進出。優勝は日系の専門店「Watami Japanese Dining」でした。次回の大会に向けて、各専門店におけるいっそうの接客意識・技術の向上を図っています。



### 魅力ある売場づくりのために

イオン同友店会が主催するVP(ビジュアル・プレゼンテーション)コンテストは、より魅力的な売場づくりを実践するために、実際の売場を撮影して応募していただき、ディスプレイ部門とPOP部門に分けて優秀な事例を表彰するものです。こうした事例は解説を加えて共有し、全体のレベルアップに役立てられています。



▲2016年度 ディスプレイ部門 大賞  
R.O.U  
イオンモールつくば



▲2016年度 POP部門 大賞  
如水庵  
イオンモール香椎浜

## すべての人が生き生きと働く職場の実現

私たちは人権を尊重し、性別や国籍に関わりなく企業の発展に参画できる組織、またすべての従業員の能力が最大限に発揮できる職場を実現します。



### 多様な人材が活躍する企業へ

事業規模の拡大に伴って当社の従業員数は増加しており、グループ企業間の人事交流もいっそう活発になっています。さまざまな背景を持つ従業員がイオンピープルとして共通の価値観を持って働ける環境整備を推進しています。

#### ●従業員データ (2017年2月末現在：連結)

	2015年度	2016年度
従業員数 <small>※臨時雇用者は( )外数で記載</small>	2,313(1,370)名	<b>2,871(1,569)名</b>

#### ●従業員データ (2017年2月末現在：単体)

	2015年度	2016年度
従業員数 <small>※臨時雇用者は( )外数で記載</small>	1,458(1,348)名	<b>1,596(1,299)名</b>
男性	1,074(214)名	<b>1,098(194)名</b>
女性	384(1,134)名	<b>498(1,105)名</b>
新入社員数 (男性/女性)	84名 (36名/48名)	<b>85名 (32名/53名)</b>
管理職 うち女性管理職	873名 115名(13.2%)	<b>884名 121名(13.7%)</b>
役員 うち女性役員	15名 2名(13.3%)	<b>15名 2名(13.3%)</b>
育児休暇取得者数 (うち男性)	34名 (0名)	<b>49名 (1名)</b>

### 組織・人材のグローバル化

中国・アセアンにおける海外法人の規模も急速に拡大しています。海外で展開する拠点については、当社の理念を深く理解するローカルスタッフによって、それぞれの地域に根ざした運営を行うことを基本的な方針としています。

#### ●現地法人ローカルスタッフ人数 (2017年2月末現在)

	2015年度	2016年度
合計	760名	<b>894名</b>
うち中国	456名	<b>527名</b>
うちアセアン	304名	<b>367名</b>

### 「ダイバーシティ推進グループ」を新設

2016年3月、人事統括部の組織下に「ダイバーシティ推進グループ」が新設されました。当社には以前からさまざまなバックグラウンドを持つ人材が揃っていましたが、その多様性を経営戦略に活かす点では課題もありました。一時的に働ける時間や場所に制約が生じた際に将来の活躍まで諦めてしまえば、本人にも会社にも大きな損失となります。継続して活躍・成長が望める制度や取り組みを見える化し、企業の強みにできる環境づくりを推進します。また事業所内保育園の導入もいっそう拡大します。

ダイバーシティ推進グループ マネージャー  
兼 保育所推進プロジェクト 東 英衣子



### 子会社の代表として新たな挑戦を

モールのゼネラルマネージャーを5年務めたのち、2016年6月にイオンモール100%出資子会社の代表に就任しました。課題は山積していますが、ゼロリセットで事業を立て直す仕事に使命感とやりがいを感じます。2016年度は約250名のスタッフと問題点を見つめ直し、大幅な収益改善を進めてきました。これまでイオンモールの社員として専門店で寄り添ってサポートをしてきたつもりでしたが、自分が専門店の立場になると、もっとモールと密接に協力する必要性を感じます。仕事をするうえで、役職ではなく人として信頼される存在でありたいですね。性別を問わず、対価を得て働く以上は与えられた使命に全力で応えるのが務めだと思います。



イオンモール キッズドリーム合同会社  
代表職務執行者 社長  
伴井 明子

### 千葉県で初めて厚生労働大臣認定マーク「えるぼし」認定を取得



当社は2016年4月1日施行の女性活躍推進法に基づき、4月27日付で千葉県で初めて厚生労働大臣認定の「えるぼし」マークを取得しました。①採用 ②継続就業 ③労働時間などの働き方 ④管理職比率 ⑤多様なキャリアコースの全項目において基準を満たし、「えるぼし」3段階で最高ランクの評価を獲得。女性活躍推進に関する取り組みの実施状況が優良な事業主として認定されました。

### 「なでしこ銘柄2017」に選定



2017年3月、当社は「なでしこ銘柄2017」に選定されました。なでしこ銘柄とは、女性が働き続けるための環境整備を含め、女性人材の活用を積極的に進めている上場企業を経済産業省と東京証券取引所が業種別に選定するもので、当社は商業施設内への保育所設置による従業員の仕事と育児の両立支援などにより選定されました(不動産業では2社のみ、全業種では47社が選定)。

### 「企業主導型保育事業」としての保育施設を設置

当社およびイオングループの商業施設に展開する「イオンゆめみらい保育園」は、イオングループおよび専門店従業員の0歳から就学前のお子さまを預かる事業所内保育施設です。子育てをしながら働く従業員の活躍支援を目的に、保育事業者との利用提携を含めて全国12ヶ所で運営しています(2017年2月末現在)。2016年11月以降に開園したイオンモール名取(宮城県)、イオンモール名古屋茶屋(愛知県)、イオンモール長久手(愛知県)、イオンモール水戸内原(茨城県)のイオンゆめみらい保育園は、いずれも内閣府が待機児童問題の解消と仕事と子育ての両立支援を目的に進める「企業主導型保育事業」と認められました。



環境に配慮して調達されたFSC®認証の木材を使用した机や椅子は空間にマッチしていて保護者のみなさまにも好評です。東松島から届いた「おのくん」の板積み木も、みんな夢中になって遊んでいます。(イオンゆめみらい保育園 名取 大江 深雪 園長)

### イオンモール労働組合より

2017年8月に労働組合設立10周年を迎えるにあたり、新たなステージに向けて「毎日笑顔!アナタと私のつながり」という2025ビジョンを掲げました。アナタは「安心/納得/愉しく」も意味しています。発足時の約4倍、2,300名を超えた組合員は勤務地も立場もさまざまですが、だからこそ、

同じ方向を向いて助け合い、地域に根ざした商業施設としてお客さまのために笑顔で働き続けられるような組織でありたいと考えています。

イオンモール労働組合  
中央執行委員長  
石山 修



## 不断の安全追求から生まれる安心の獲得

私たちは関わりあるすべての人たちに対して、さまざまな安全を提供し、  
どんなときも安心の評価をいただけるまちづくりを推進します。



### ユニバーサルデザイン

あらゆるお客さまに安心して快適にお過ごしいただけるよう、当社は2005年から本格的なユニバーサルデザインを導入してきました。また導入後も定期的にアンケートを行うなどしてお客さまからのご意見を伺い、ハード・ソフトの両面から継続的な改善に取り組んでいます。

2016年12月にオープンしたイオンモール長久手では、ベビーカーをご利用のお客さまに配慮した広めの駐車スペース「ベビーパーキング」を13台分設置しています。



#### ● お客さまへのご案内



どこからでも話しかけやすい  
インフォメーションカウンター  
を設置。タッチパネル式の館内  
案内やデジタルサイネージも  
順次導入しています。

#### ● トイレスペース



広く多機能な「優先トイレ」、お  
子さま専用設計された「キッ  
ズトイレ」、オストメイト対応ト  
イレなどが揃っています。

#### ● お体の不自由な方のために



館内には車椅子やベビーカー  
を配備しています。また、介助  
が必要なお客さまのために、  
モール中央入口にインターフォ  
ンを設置しています。

#### ● 登録制専用駐車場



お体の不自由な方専用の駐車  
スペースを確保。事前登録制と  
することで、必要とされる方が  
確実に利用できる環境を整え  
ています。

### 耐震性能の強化



東日本大震災後にオープン  
したモールでは、天井の主  
要箇所において耐震性能を  
より高めた工法を採用し、  
メイン通路の天井を膜天井  
やスケルトン化しています。  
受水槽も東日本大震災と同  
規模の地震を想定した耐震  
性・耐久性を備えています。

▲災害時の割れや飛散を防ぐシート材  
の防煙垂壁(イオンモール長久手)



▲大規模な津波を想定して屋上に設置  
した高置水槽(イオンモール堺鉄砲町)

### 食品衛生管理



すべてのお客さまに安心して  
お食事をお楽しみいただくた  
めに、当社は食品衛生管理を  
最重要項目のひとつに位置づけています。食品の取り扱いや  
日付・温度管理、作業場内の衛生管理、従業員の健康管理な  
ど、多岐にわたって独自の厳しいルールを定めているほか、す  
べての飲食店を対象として定期的に食品衛生調査を実施し  
ています。

▲飲食店従業員用のトイレ。手を  
消毒しないと扉が開かないよう  
になっているモールもあります。

### 防災協定の締結



国内のモールの大半が、防災活動への協力などに関する協定  
書を地方行政と締結しています。2016年12月にオープンし  
たイオンモール長久手は、長久手市と「災害時における被災者  
に対する防災活動協力に関する協定」を締結。災害時は被災  
者にモールの駐車場を一時避難場所として提供することや  
水道水・トイレなどを利用いただくこと、また市の防災訓練に  
協力することなどを取り決めました。

### ボーイスカウト日本連盟と協力した「全国防災キャラバン」を実施

2016年6月から12月につ  
けて、公益財団法人ボーイ  
スカウト日本連盟、イオン株  
式会社ならびに当社の主催  
で、47都道府県・60拠点の  
イオングループ商業施設で  
「全国防災キャラバン」を開  
催しました。ボーイスカウト  
日本連盟の協力のもと、地  
域の未来を担うお子さまと  
その保護者の方を対象に、  
有事の際に役立つ「防災」  
に関する知識やスキルを得  
ていただくことを目的とし  
たイベントです。「そなえ  
よつねに」を合言葉に、防  
災用品の選択、応急救護の  
体験、ロープワークの体験  
など、実践的なプログラム  
を実施しました。



### グループ総合防災訓練の実施(イオンモール高知(高知県))

2016年6月、イオンモール高知で東南海地震を想定したイオン  
グループ総合防災訓練を実施しました。和歌山県南方沖の南海トラ  
フでマグニチュード8.4の地震が発生し、近畿や中四国地方を中  
心に最大震度7の揺れを観測したという想定で、同モールでは約  
300名が参加して避難誘導訓練を実施。また、イオングループの危  
機管理専門部署であるイオン小牧危機管理センター(愛知県)およ  
びイオンタワー防災対策本部(千葉県)で災害情報収集訓練を中  
心に実施し、グループ全体で被災地支援の連携も確認しました。



#### ● 誘導経路の確認



専門店従業員を中心に、エレ  
ベーターやエスカレーターを  
使わずにお客さまを駐車場の  
高層階へ誘導する経路を確認  
しました。

#### ● 炊き出しの提供



陸上自衛隊の炊事車、水トレ  
ラーによる白米の炊き出しで  
カレーライスをお客さまに提  
供。自衛隊車両の展示も行わ  
れました。

#### ● AED講習



館内では日本赤十字社による  
心臓マッサージやAED(自動  
体外除細動器)の使用法に関  
する講習が行われました。

#### ● バルーンシェルター設置



熊本地震でもお役立ていただ  
いた緊急避難用大型エアテ  
ント(バルーンシェルター)を  
設置しました。

## 地域から地球へ、環境保全の推進

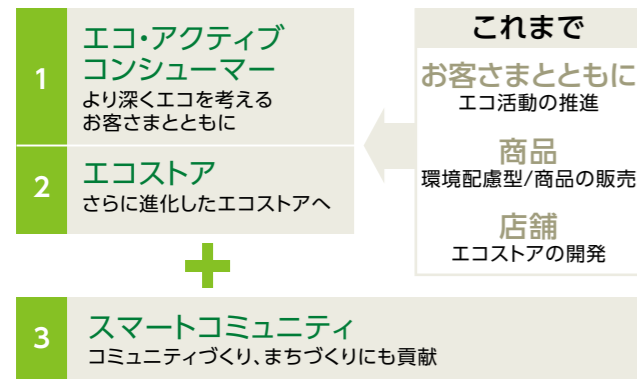
私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。



### スマートイオンの展開

スマートイオンとはエネルギーの効率化や防災などにまちなみで対応する次世代型エコストアを指し、環境目標「イオンのエコプロジェクト」が定める基準を満たす持続可能なまちづくりです。当社が運営するモールでは、2016年3月オープン  
のイオンモール堺鉄砲町を含む10モールで展開しています。

#### ●スマートイオン



### 「ライトダウンキャンペーン2016」の実施

当社は2003年より環境省が提唱する「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」に参加しています。2016年は夏至の6月21日およびクールアースデーの7月7日、20時から22時まで店舗外観や建物周辺の照明の消灯を実施しました。参加したのは全国のイオンモール、イオンショッピングセンター143拠点です。



### EV(電気自動車)充電器の設置拡大

2008年より当社は地球環境の保全、持続可能な社会の実現をめざし、CO<sub>2</sub>を排出しない電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及を推進するため、各モールにEV(電気自動車)充電器の設置を進めてきました。2017年3月現在、当社が運営・管理する国内の商業施設の約9割にEV充電器を設置完了し、イオングループの他の商業施設と合わせて日本全国に206拠点のEV充電ステーション網を構築しています。



### 公共交通機関の利用促進

イオンモールでは、立地に関わらずお客さまが電車や路線バスなど公共交通機関を利用してご来店いただける環境の整備に努めています。特に駅から徒歩圏内のモールでは、鉄道会社や交通局と連携して電車でご来店されたお客さまに特典を提供するなど、公共交通機関を利用しやすい環境づくりを進めています。イオンモール長久手(愛知県)では、最寄り駅である愛知高速交通東部丘陵線(リニモ)の長久手古戦場駅のネーミングライツ取得により副駅名を「イオンモール長久手 前」としたほか、お客さまのリニモ利用促進を目的として交通系IC乗車券利用促進サービス「クテポ」を新たに導入。全国で相互利用している交通系IC乗車券でリニモに乗車してご来店し、モール内の端末にタッチしていただくことでポイントを付与し、一定のポイントがたまるとお買い物券を進呈しています。



### 自然の力を利用した取り組み

#### ●太陽光発電

イオンモールでは他の商業施設に先駆けて太陽光発電システムを順次導入し、館内の使用電力の一部をまかなっています。一部のモールでは、災害などによる停電時にも太陽光パネルで発電した電力を活用できるシステムを採用しています。



#### ●風力の活用

一部のモールには、風力発電と太陽光発電によるクリーンエネルギーのハイブリッド太陽灯を設置しています。夜間や日照時間の短い冬季でも安定した充電を確保し、災害時でも自然エネルギーのみで終夜点灯が可能です。



### イオン ふるさとの森づくり



1991年にマレーシアでスタートした「イオン ふるさとの森づくり」。新しいモールがオープンする際には、地域の自然環境に最も適した、その土地に自生する樹木をお客さまとともに植えています。2017年2月末現在、累計植樹本数は約1,140万本(グループ合計)に達しています。

#### ●壁面緑化/植栽



モール壁面の緑化は景観を向上するだけでなく、建物の断熱性を高めることで夏季の館内における温度上昇を抑制し、冷房で使用するエネルギーの削減につながります。また、各モールの周辺には随所に緑豊かな植栽を施し、自然との調和を図るとともに、うるおいのある憩いの空間を演出しています。

### 「いきもの共生事業所®」 認証取得モールの拡大

いきもの共生事業所®認証は、「一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)」が作成・登録した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、



▲イオンモール常滑の敷地に広がる森「きゅりお」では、25の巣箱を設置して知多半島に生息する野鳥を呼び込んでいます。

「いきもの共生事業推進協議会」が第三者的に評価・認証するものです。2013年にイオンモール東員(三重県)が初めて認証されて以来、認証取得モールは順次増加し、2016年度にオープンしたモールではイオンモール堺鉄砲町(大阪府)とイオンモール長久手(愛知県)が認証を取得し、合計6モールとなりました。

## 地域から地球へ、環境保全の推進

私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。

### 水質保全

排水基準を順守するためにすべての飲食店で毎日の厨房グリストラップ清掃を義務づけ、油やごみの流出防止に努めています。そのうえで、店内の厨房から油が流出する事故が発生

した場合に外部への拡散を防止するための訓練を定期的実施しています。また、一部のモールでは排水を浄化するためにバクテリア分解を利用しています。

### 省エネルギーの取り組み

#### ● LED照明

近年にオープンしたモールでは共用部のLED採用率100%を達成。専門店にも新規モールオープン時や既存店リニューアル時にLEDの採用を呼びかけており、光の色や明るさが選べるようになってきたこともあって着実に切り替えが進んでいます。また、屋外の電飾サインにも消費電力の少ないLED光源ユニットを採用しています。

#### ● 空調冷水カスケードシステム

当社が開発した「空調冷水カスケードシステム」は、複数の空調機をカスケード(連なった)配置とし、夏季の冷水搬送動力の低減ときめ細かな空調負荷対応を実現しました。冬季は館内の人体発熱や照明発熱を冷水で熱吸収させ、外気を温めて送風に利用。一般的なシステムと比較して約50%のエネルギー削減を可能にし、CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献します。

#### ● 空調換気省エネシステムによる電力コントロール

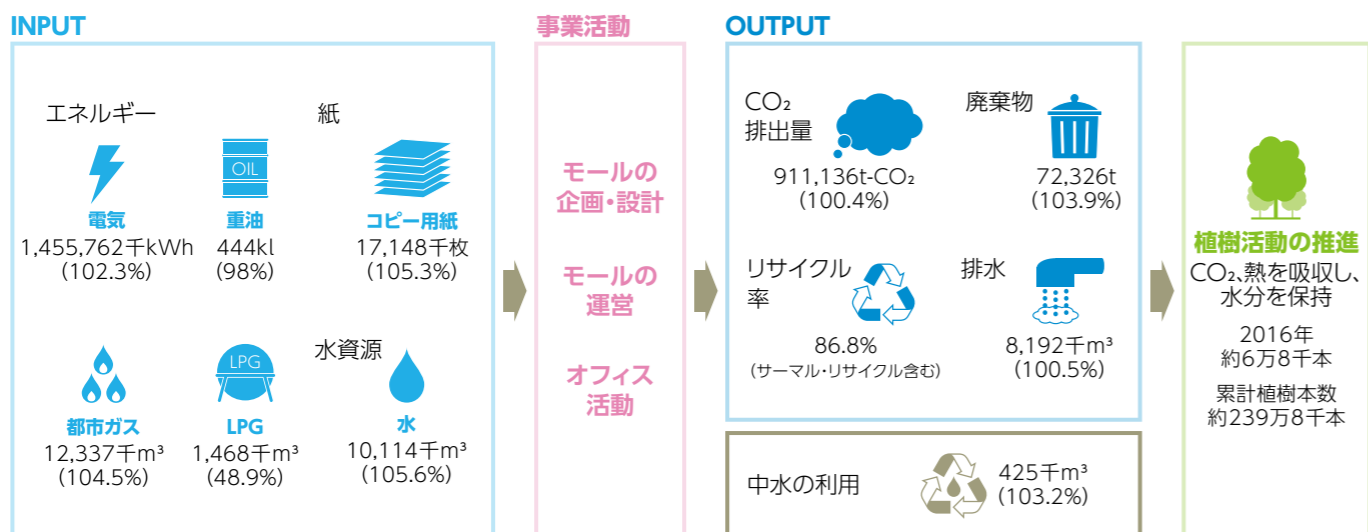
一部のモールで採用されている空調換気省エネシステムであるBAMDS(バンドス)は、高度なIT技術で施設全体のエネルギーを管理し、大幅な省エネルギーを実現します。外気温度・湿度、室内温度・湿度、CO<sub>2</sub>濃度を常時モニタリングし、電気設備、空調設備、給排水設備などをITでコントロール。エネルギー効率の最適化を図ります。

(協力:株式会社テクノミライ)

#### ● 温室効果ガス排出量についての第三者検証を受審

2016年10月、当社が排出する温室効果ガス(GHG)の排出量(スコープ1およびスコープ2)について、第三者による検証を受けました。今後も、データの信頼性向上とGHG排出量の継続的な削減に努めていきます。

#### ● 2016年度インプット/アウトプット(国内73モール)



※対象は共有部分、イオン、テナントも含むモール全体。ただし廃棄物およびリサイクル率はテナントとイオンモール事務所が対象、コピー用紙はイオンモール事務所のみが対象となります。 ※( )内は対前年比

### 廃棄物削減とリサイクル

モールから出る廃棄物の削減では、専門店に協力をいただいて、「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題として意識づけることが重要です。各モールでは、廃棄物を基本17品目分別したうえで品目ごとに計量するシステムを導入しています。

専門店は各品目を計量した後、計量済みのシールを貼り、品目ごとの保管場所にまとめて廃棄します。分別されたごみのうち、可能なものについては極力リサイクルに回し、各品目ごとにリサイクル率を集計しています。2016年度のリサイクル率は86.8%でした。



▲分類を分かりやすく記したごみ庫。空調を備えて悪臭や害虫の発生を抑えています。



◀廃棄物は品目別に集計して計量。どの専門店がどれだけ廃棄物を出しているかをデータで把握しています。

### 環境コミュニケーション

各モールの環境負荷低減は当社の従業員だけでなく、専門店やお客さまのご理解・ご協力が重要です。専門店のスタッフには小冊子の配布やバックヤードの掲示物などご協力をお願いしています。また館内ではエコインフォメーションやエコベンチを通して各モールの環境に対する取り組みをご紹介しますとともに、エコバッグの持参やリサイクルへのご協力を呼びかけています。



▲エコインフォメーションでは太陽光発電システムの稼働状況などをご確認いただけます。



▲館内のごみ箱も4品目程度に分類。お客さまにも分別へのご協力をお願いしています。

### 2016年度の廃棄物排出総量とリサイクル率

全社リサイクル率(サーマル・リサイクル含む)		
		<b>86.8%</b>
項目別排出量とリサイクル率		
項目	排出量	リサイクル率
1 生ごみ	15,620t	92.5%
2 段ボール	19,949t	100.0%
3 雑芥	20,457t	64.2%
4 廃プラスチック	3,199t	98.9%
5 ビン	403t	99.5%
6 缶	628t	100.0%
7 発泡スチロール	114t	100.0%
8 廃油	1,800t	100.0%
9 紙類	2,749t	100.0%
10 粗大ごみ	195t	84.3%
11 その他不燃ごみ	1,254t	74.8%
12 廃蛍光灯	26t	84.9%
13 廃電池	12t	67.9%
14 割り箸	111t	94.3%
15 廃アルカリ・剥離剤	21t	62.4%
16 汚泥	5,181t	88.0%
17 廃エンジンオイル	—	—
18 店頭回収:アルミ缶	77t	100.0%
19 店舗回収:食品トレイ	31t	100.0%
20 店舗回収:牛乳パック	102t	100.0%
21 店舗回収:ペットボトル	396t	100.0%

### 資源回収・リサイクルの促進

一部のモールでは、ご家庭の古新聞や古雑誌をお持ちいただいたお客さまに重量に応じたリサイクルポイントを発行し、一定のポイントがたまるとイオン商品券と交換するシステムを導入し、古紙のリサイクルを促進しています。回収はモールに設置した専用のボックスで行うため、お買い物のついでにいつでもお持ちいただける点でもご好評をいただいています。また、お客さまのご家庭からペットボトルを回収し、WAONポイントを付与する取り組みも一部のモールで実施しています。



▲ecomco(エコモ)による古紙リサイクルポイントシステム(協力:国際紙パルプ商事株式会社) ※一部モールに設置



▲ご協力いただいたお客さまにはWAONポイントがたまる、ペットボトルの自動回収機 ※一部モールに設置

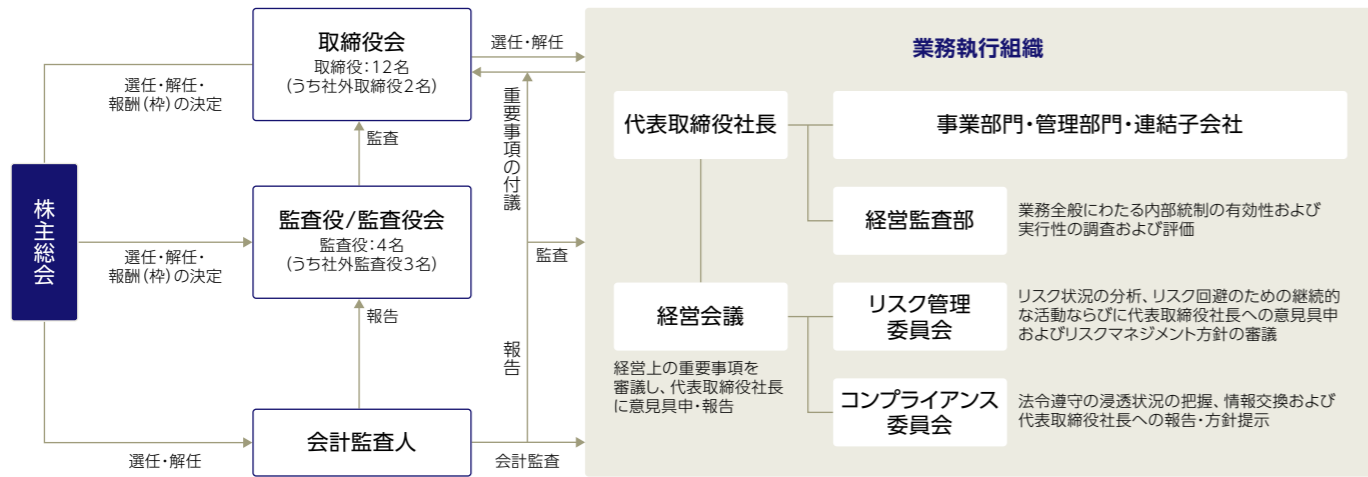
## コーポレート・ガバナンスに対する取り組み

地域に根ざした商業施設として、いつまでもお客さまからご愛顧をいただくために。当社はコーポレート・ガバナンスを企業経営における最重要事項のひとつに位置づけています。

### 経営体制

当社は監査役制度を採用しています。取締役会を当社事業に精通した取締役で構成し経営効率の維持・向上に取り組むとともに、監査役機能の充実により経営の健全性の維持・強化を図っています。

#### ● コーポレート・ガバナンス組織図 (2017年2月28日現在)



#### ■ 取締役会

経営監督機能の強化のため、代表取締役社長を議長とし、月1回以上開催。監査役も出席。  
(取締役2名、監査役2名が独立役員)

#### ■ 監査役会

監査の実効性・効率性向上のため、会計監査人と内部監査部門である経営監査部と都度相互の情報交換・意見交換を実施。

### 内部統制システム (主要事項の一部)

#### ● 情報の保存・管理

決裁書、会議議事録などの文書は、その保存媒体に応じた適切かつ確実な検索性の高い状態で保存および管理を行い、必要に応じて閲覧可能な状態を維持するとともに、「文書管理規則」に定められた主管部門が社外漏洩を防止します。

#### ● リスクマネジメント

危機の未然防止および危機発生時の被害最小化を目的とした「経営危機管理規則(リスクマネジメント規程)」を策定し、リスクの減少および被害の低減に努めます。緊急かつ重大な損失の危険が発生した場合は、同規則に基づき適切な情報伝達および意思決定により的確な対応を行います。

#### ● 問題点の指摘と改善

管理本部長を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設け、委員会の議事については、経営会議に報告するとともに、重要案件については、取締役会に報告します。また通報者に不利益が及ばない内部通報窓口として、ヘルプライン・イオンモール「人事110番」を設置します(当社労働組合においても「組合110番」を設置)。報告・通報があった場合、担当部門はその内容を精査して、違反行為があれば社内規程に基づき必要な処置をしたうえで、再発防止策を策定し、「コンプライアンス委員会」に報告します。

## イオンモール データ集

各ショッピングモールの2017年度データ(2017年2月現在)  
※防災協定の欄はイオン株式会社が包括提携協定・相互協力連携協定を締結しているものも含みます。

### 北海道

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
1. イオンモール旭川駅前	2015年3月	29,000	900	400	1,709	2015年1月	3	17,729	6	—	—	2	—
2. カテプリ	2016年12月	13,200	1,750	—	753	—	1	—	—	—	—	—	—

### 東北

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
3. イオンモールつがる柏	1992年11月	40,000	2,600	72,000	912	2006年8月	3	824	—	—	—	1	1
4. イオンモール下田	1995年4月	59,000	4,000	50,000	1,524	2006年7月	4	742	—	—	—	4	1
5. イオンモール盛岡	2003年8月	52,000	2,600	26,020	1,937	2006年8月	4	861	—	—	○	1	1
6. イオンモール盛岡南	2006年9月	42,000	2,400	17,044	1,880	2006年8月	3	858	—	—	—	1	1
7. イオンモール名取	2007年2月	67,000	3,900	20,000	2,592	2007年1月	4	2,103	27	○	—	10	—
8. イオンモール利府	2000年4月	33,000	3,000	25,016	1,181	2006年8月	2	461	21	—	—	1	1
9. イオンモール富谷	2003年3月	28,000	2,400	8,592	668	2006年6月	4	789	—	—	—	1	1
10. イオンモール石巻	2007年3月	40,000	2,600	19,205	1,462	2006年11月	3	1,761	16	○	—	1	1
11. イオンモール秋田	1993年9月	58,000	3,200	43,000	2,164	2006年5月	6	8,248	—	—	—	1	1
12. イオンモール大曲	2008年10月	48,000	2,900	15,208	944	2008年10月	1	769	12	—	—	1	1
13. イオンモール天童	2014年3月	47,000	3,000	15,000	1,470	2015年6月	4	523	17	—	—	12	2
14. イオンモール山形南	2000年11月	26,000	1,700	21,027	822	2010年10月	2	218	—	—	—	1	1
15. イオンモール三川	2001年7月	40,000	3,300	27,662	687	2006年7月	3	942	—	—	—	1	1
16. ショッピングモールフェスタ	1996年4月	32,000	3,800	26,000	930	2016年8月	3	—	—	—	—	—	—

### 関東

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
17. イオンモール水戸内原	2005年11月	78,000	4,100	49,000	3,208	2006年8月	4	1,481	11	○	○	13	—
18. イオンモールつくば	2013年3月	64,000	4,000	15,000	2,167	2011年10月	6	539	15	○	○	12	1
19. イオンモール下妻	1997年11月	36,000	3,100	16,473	1,267	2006年9月	2	—	14	○	—	1	1
20. イオンモール土浦	2009年5月	58,000	3,300	20,000	2,172	2009年6月	2	612	20	○	—	1	1
21. イオンモール小山	1997年4月	30,000	1,900	19,493	1,014	2006年7月	3	826	—	○	○	1	1
22. イオンモール佐野新都市	2003年4月	32,000	2,300	11,827	1,319	2006年7月	4	1,382	12	—	—	1	1
23. イオンモール太田	2003年12月	62,000	4,200	54,000	2,188	2006年7月	5	619	14	—	○	13	—
24. イオンモール高崎	2006年10月	59,000	3,700	50,000	2,661	2007年11月	4	2,755	12	—	○	12	—
25. イオンモール川口	1984年4月	34,000	1,300	250	867	2006年11月	5	—	—	—	—	—	—
26. イオンモール川口前川	2000年11月	66,000	2,400	20,000	3,138	2006年11月	4	274	—	—	—	1	1
27. イオンモール羽生	2007年11月	75,000	5,000	90,000	3,135	2007年10月	7	2,107	21	○	—	8	1
28. イオンレイクタウンkaze	2008年10月	61,000	2,300	28,000	3,296	2008年10月	5	—	32	○	—	9	1
29. イオンレイクタウンmori	2008年9月	99,000	6,100	50,000	6,503	2006年8月	6	29,835	20	○	—	1	2
30. イオンレイクタウンアウトレット	2011年4月	23,000	1,100	1,000	986	2006年8月	1	—	10	○	—	2	1
31. イオンモール春日部	2013年3月	56,000	2,900	15,000	2,470	2006年8月	6	1,048	17	○	○	13	—
32. イオンモール北戸田	2004年11月	44,000	2,600	12,627	2,293	2006年7月	3	60	—	—	—	1	1
33. イオンモール与野	2004年12月	41,000	3,000	16,371	2,364	2006年8月	3	298	6	—	—	1	1
34. イオンモール浦和美園	2006年4月	62,000	3,000	25,641	3,347	2006年8月	4	156	16	○	—	1	1

# イオンモール データ集 各ショッピングモールの2017年度データ (2017年2月現在)

## 関東(つづき)

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
35. イオンモール富津	1993年9月	28,000	1,400	32,000	761	2006年8月	4	306	—	—	—	1	1
36. イオンモール成田	2000年3月	65,000	4,000	46,000	2,520	2006年8月	6	3,605	16	—	○	11	1
37. イオンモール千葉ニュータウン	2006年4月	79,000	4,000	14,000	2,428	2007年3月	6	2,226	—	—	○	12	1
38. イオンモール幕張新都心	2013年12月	128,000	7,300	50,000	5,491	2007年1月	18	224	43	○	○	35	4
39. イオンモール木更津	2014年10月	84,000	4,000	61,570	2,413	2015年6月	3	1,727	11	○	○	12	2
40. イオンモール津田沼	2003年9月	27,000	1,300	1,549	1,970	2006年7月	2	—	9	—	—	1	1
41. イオンモール八千代緑が丘	2005年3月	42,000	2,500	11,535	2,177	2006年7月	3	638	—	○	—	1	1
42. イオンモール柏	2006年5月	30,000	2,000	7,896	1,132	2006年8月	2	95	—	○	—	1	1
43. イオンモール銚子	2010年3月	31,000	3,200	35,000	774	2010年3月	2	1,201	11	○	○	1	1
44. イオンモール船橋	2012年4月	36,000	2,300	17,346	2,204	2012年3月	2	—	20	○	—	2	2
45. ゆみーる鎌取ショッピングセンター	1994年3月	28,000	1,600	4,461	1,485	2007年1月	3	—	—	—	○	—	—
46. イオンマリソピア専門館	2003年10月	11,000	300	—	421	2007年1月	1	—	4	—	—	—	—
47. イオンモールむさし村山	2006年11月	78,000	4,800	45,000	3,976	2006年9月	6	1,099	—	—	○	2	1
48. イオンモール日の出	2007年11月	64,000	3,600	58,000	2,831	2007年11月	4	1,214	16	○	○	8	1
49. イオンモール多摩平の森	2014年11月	24,000	1,000	600	1,981	2014年9月	4	345	9	—	—	1	1
50. イオンモール東久留米	2013年4月	31,000	1,700	20,000	1,731	2013年4月	4	349	9	○	—	4	—
51. イオン橋樑ショッピングセンター	2000年5月	35,000	900	—	798	2007年9月	1	427	—	○	—	1	1
52. イオンモール大和	2001年12月	35,000	1,900	20,000	1,553	2006年4月	3	3,161	—	—	○	2	—
53. イオン海老名ショッピングセンター	1979年11月	32,000	1,500	—	1,045	1994年4月	1	—	16	—	—	—	—
54. イオン相模原ショッピングセンター	1993年8月	27,000	1,500	34,001	1,582	1992年4月	3	42	—	—	—	1	1
55. イオン養野ショッピングセンター	1995年11月	28,000	1,900	6,625	1,455	2006年8月	3	2,252	—	○	—	1	1

## 中部

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
56. イオンモール新発田	2005年4月	33,000	1,700	14,210	995	2006年7月	3	160	10	—	—	2	1
57. イオンモール新潟南	2007年10月	51,000	4,000	30,396	2,365	2008年7月	6	1,536	14	—	—	1	1
58. イオンモール高岡	2002年9月	62,000	3,600	44,000	1,966	2007年12月	3	2,463	—	—	—	9	1
59. イオンモールとなみ	2015年7月	33,000	1,750	7,000	1,135	2015年6月	2	187	—	—	—	2	2
60. イオンモールかほく	2008年10月	62,000	3,300	29,391	1,515	2008年10月	2	56	12	○	—	1	1
61. イオン磐経線ショッピングセンター	1998年3月	33,000	1,700	—	824	2012年3月	3	88	—	—	—	1	1
62. イオンモール甲府昭和	2011年3月	48,000	2,500	20,000	1,941	2011年2月	5	843	17	—	○	3	—
63. イオンモール佐久平	1999年4月	25,000	2,000	19,247	952	2011年9月	2	684	23	—	—	1	1
64. イオンモール大垣	2007年4月	43,000	2,500	29,253	1,032	2007年3月	3	1,368	10	○	○	1	1
65. イオンモール各務原	2007年7月	77,000	5,500	62,643	3,950	2007年7月	3	872	20	○	—	1	1
66. イオンモール浜松志都呂	2004年8月	65,000	3,500	38,000	2,237	2011年12月	5	620	58	○	—	9	1
67. イオンモール富士宮	2001年12月	40,000	2,500	24,231	1,839	2006年9月	3	1,433	45	—	—	1	1
68. イオンモール浜松市野	2005年6月	63,000	4,000	19,299	2,769	2006年9月	3	851	67 (フジ(バー)16名)	○	—	1	1
69. イオンモール岡崎	2000年9月	80,000	4,300	48,050	3,750	2007年3月	9	1,222	42	—	—	13	—
70. イオンモール東浦	2001年7月	55,000	5,000	25,000	2,067	2006年7月	7	593	—	—	—	13	—
71. イオンモール木曾川	2004年6月	66,000	4,400	15,000	2,449	2014年9月	2	2,960	16	—	—	8	1
72. イオンモール新瑞橋	2010年3月	38,000	1,700	5,000	1,829	2010年2月	6	—	22	○	—	9	—
73. イオンモール名古屋茶屋	2014年6月	75,000	4,100	18,956	2,444	2012年1月	3	720	8	○	—	11	2
74. イオンモール常滑	2015年12月	82,800	4,200	12,000	2,498	2015年11月	3	1,208	20	○	—	12	2
75. イオンモール長久手	2016年12月	59,000	2,600	8,134	3,177	2016年12月	7	—	13	○	—	2	2
76. イオンモール名古屋みなと	1999年11月	44,000	3,000	36,484	1,268	2006年10月	2	111	—	—	—	1	1
77. イオンモール熱田	2003年7月	47,000	3,800	12,331	2,677	2006年7月	4	353	—	—	—	1	1

## 中部(つづき)

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
78. イオンモール扶桑	2003年8月	34,000	2,800	17,887	1,497	2006年7月	1	323	31	○	○	1	1
79. イオンモールナゴヤドーム前	2006年3月	48,000	2,800	12,736	3,210	2009年5月	3	—	16	—	—	1	1
80. イオンモール大高	2008年3月	65,000	4,000	25,000	3,690	2008年2月	2	—	12	○	—	1	1
81. イオン春日ショッピングセンター	1991年4月	33,000	1,600	—	942	2009年7月	1	146	20	—	○	1	1

## 近畿

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
82. イオンモール鈴鹿	1996年11月	70,000	4,200	36,000	2,285	2006年8月	5	2,123	16	—	—	10	1
83. イオンモール東員	2013年11月	58,000	3,500	15,000	2,159	2013年10月	3	237	15	○	—	7	2
84. イオンモール四日市北	2001年1月	42,000	3,000	38,478	1,233	2008年8月	1	1,027	26	○	—	1	1
85. イオンモール明和	2001年7月	34,000	3,100	39,467	1,036	2012年3月	2	47	52	○	—	—	—
86. イオンモール桑名	1995年3月	38,000	4,000	—	444	2004年3月	2	38	—	—	—	—	—
87. イオン津ショッピングセンター	1978年9月	34,000	1,200	141	890	2006年12月	2	—	11	—	—	—	—
88. イオンモール草津	2008年11月	78,000	4,500	20,000	3,338	2008年10月	5	1,160	48	○	—	1	2
89. イオン近江八幡ショッピングセンター	1991年4月	35,000	3,000	—	1,002	1996年3月	4	—	—	—	—	—	—
90. イオンモール京都五条	2004年3月	36,000	1,700	11,000	2,195	2010年9月	4	537	—	—	—	1	1
91. イオンモールKYOTO	2010年6月	51,000	1,100	—	2,846	2011年9月	5	275	—	—	○	1	1
92. イオンモール京都桂川	2014年10月	77,000	3,100	10,553	5,307	2014年10月	5	1,209	23	○	—	13	4
93. イオンモール久御山	1999年6月	29,000	2,500	22,191	1,753	2011年9月	2	786	7	○	—	1	1
94. イオンモール高の原	2007年5月	44,000	2,100	17,158	3,078	2011年9月 2011年3月奈良	3	246	15	○	—	—	1
95. イオン洛南ショッピングセンター	1998年7月	26,000	1,800	8,233	1,251	2011年9月	2	214	—	—	—	1	1
96. イオンモール堺北花田	2004年10月	72,000	2,800	6,000	3,202	2015年1月	5	888	6	○	—	1	1
97. イオンモールりんくう泉南	2004年11月	76,000	4,300	66,000	2,637	2005年9月	5	1,624	—	○	—	11	2
98. イオンモール鶴見緑地	2006年11月	54,000	2,200	12,000	2,306	2010年6月	5	196	—	—	—	12	1
99. イオンモール四條畷	2015年10月	75,000	4,100	20,000	3,881	2015年10月	6	651	13	○	—	12	2
100. イオンモール堺鉄砲町	2016年3月	56,000	2,600	10,000	2,549	2016年3月	4	201	13	○	○	10	2
101. イオンモール日根野	1995年4月	29,000	2,000	32,781	1,354	2011年4月	2	488	42	—	—	1	1
102. イオンモール大日	2006年9月	56,000	2,400	15,416	3,532	2008年8月	1	755	16	○	—	1	2
103. イオンモール大阪ドームシティ	2013年5月	34,000	700	4,200	1,669	2014年1月	5	—	16	○	—	4	—
104. イオンモール茨木	2001年1月	46,000	2,000	—	2,815	2008年9月	4	229	36	—	—	1	1
105. イオンモール伊丹	2002年10月	57,000	2,800	30,000	3,304	2012年2月	4	565	—	○	—	1	1
106. イオンモール神戸北	2006年11月	55,000	4,000	56,000	2,677	2006年10月	7	961	40	—	—	10	1
107. イオンモール姫路リバーシティ	1993年11月	36,000	2,600	11,817	1,518	2013年3月	2	934	32	—	—	1	1
108. イオンモール猪名川	1998年4月	29,000	2,000	38,818	1,268	2012年2月	2	136	9	—	—	1	1
109. イオンモール姫路大津	2004年12月	34,000	2,600	16,151	1,212	2012年2月	2	357	35	○	—	1	1
110. イオンモール加西北条	2008年11月	33,000	2,100	11,864	1,060	2012年2月	4	424	14	○	—	1	1
111. イオンモール伊丹昆陽	2011年3月	48,000	2,400	10,300	2,344	2012年2月	6	241	23	○	—	4	1
112. イオン明石ショッピングセンター	1997年10月	58,000	3,500	—	1,426	2012年2月	2	345	—	—	—	—	—
113. イオンモール檀原	2004年4月	80,000	5,000	25,000	3,498	2010年11月	5	6,469	15	○	—	9	1
114. イオンモール大和郡山	2010年3月	67,000	4,100	20,000	2,842	2010年3月	4	1,018	11	—	○	8	1
115. イオンモール奈良登美ヶ丘	2006年7月	31,000	1,300	15,118	1,351	2007年6月	2	253	3	—	—	1	1
116. イオンモール和歌山	2014年3月	69,000	3,500	20,000	3,034	2014年3月	4	1,868	17	○	—	12	4

中国・四国

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
117. イオンモール日吉津	1999年3月	47,000	2,900	25,486	1,386	2006年8月	2	8,464	11	○	—	1	1
118. イオンモール鳥取北	2000年4月	48,000	3,100	9,000	1,288	2007年3月	2	703	10	—	—	1	1
119. イオンモール出雲	2016年5月	32,000	2,000	9,000	1,292	2009年1月	2	298	12	○	—	1	2
120. イオン松江ショッピングセンター	1994年5月	32,000	1,800	—	1,171	1997年10月	2	369	20	—	—	—	—
121. イオンモール倉敷	1999年9月	83,000	4,700	70,000	3,120	2006年8月	6	11,869	29	○	—	11	4
122. イオンモール岡山	2014年12月	92,000	2,500	7,898	7,107	2014年11月	5	—	12	○	—	9	2
123. イオンモール津山	1996年12月	30,000	2,000	18,668	1,045	1998年3月	2	967	10	—	—	1	1
124. イオンモール広島府中	2004年3月	98,000	5,000	64,000	4,369	2007年4月	4	—	—	○	—	12	2
125. イオンモール広島祇園	2009年4月	50,000	2,800	20,000	2,222	2009年9月	6	740	14	○	—	8	1
126. 広島段原ショッピングセンター	2011年9月	24,000	800	—	547	2012年10月	1	—	—	—	—	—	—
127. イオンモール高松	2007年4月	47,000	3,000	12,500	1,124	2007年6月	2	191	16	○	—	1	1
128. イオンモール綾川	2008年7月	57,000	4,000	49,044	1,746	2008年6月	4	684	16	○	—	1	1
129. イオンモール新居浜	2001年6月	67,000	3,400	35,000	1,594	2006年8月	5	1,139	10	○	—	1	1
130. イオンモール今治新都市	2016年4月	54,000	2,900	10,000	1,463	—	3	239	34	—	—	2	2
131. イオンモール高知	2000年12月	57,000	3,100	23,000	1,718	2007年9月	6	2,179	—	○	○	1	1

九州・沖縄

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
132. イオンモール福岡	2004年6月	90,000	5,200	14,000	2,647	2012年4月	6	1,368	21	—	—	6	1
133. イオンモール直方	2005年4月	58,000	3,400	39,000	1,945	2006年8月	4	453	20	—	—	9	1
134. イオンモール筑紫野	2008年12月	80,000	3,800	20,000	3,000	2009年4月	6	2,653	17	○	○	1	1
135. イオンモール大牟田	2011年3月	57,000	4,800	20,000	1,867	2011年9月	3	1,239	16	○	—	11	—
136. イオンモール福津	2012年4月	61,000	3,500	27,000	2,651	2012年3月	4	1,597	25	○	○	12	—
137. イオンモール八幡東	2006年11月	41,000	2,200	19,242	1,777	2007年8月	2	355	—	○	—	2	—
138. イオンモール宇城	1997年11月	63,000	3,300	50,000	904	2007年11月	2	74	—	○	—	—	—
139. イオンモール熊本	2005年10月	73,000	4,500	27,000	2,231	2006年10月	4	1,012	—	—	—	2	—
140. イオンモール三光	1996年12月	40,000	2,500	36,000	727	2006年2月	3	1,111	—	—	—	1	1
141. イオンモール宮崎	2005年5月	70,000	4,000	56,000	1,959	2006年9月	6	1,839	12	○	○	11	—
142. イオンモール都城駅前	2008年12月	28,000	1,700	8,000	1,180	2008年11月	3	872	—	○	—	1	1
143. イオンモール沖縄ライカム	2015年4月	78,000	4,000	26,000	3,477	—	6	1,008	—	○	—	14	4

PM

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
144. ショッピングセンターソカふじみ野	2012年6月	9,400	400	—	535	—	2	—	—	—	—	—	—
145. mozo wondercity	2009年4月	101,000	5,000	20,000	3,845	—	3	—	14	—	—	1	1
146. 神戸ハーバーランドumie	2013年4月	85,000	3,000	—	3,646	—	4	—	—	—	—	—	2
147. ならファミリー	1972年3月	86,000	2,000	300	3,900	—	2	—	—	—	—	—	—

中国

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	LED	太陽光発電	自動制御システム (電気・空調)	冷凍機インバータ制御	カーテンウォール遮光・遮熱フィルム	屋上緑化	中水利用 (緑化灌水やり)	電気自動車充電ステーション
148. イオンモール北京国際商城	2008年11月	53,000	3,000	8,000	約2,000	○	—	—	—	○	—	—	—
149. イオンモール北京豊台	2015年9月	58,000	2,000	3,969	約1,070	○	○	○	○	○	—	○	○
150. イオンモール天津TEDA	2010年10月	55,000	2,500	8,000	約1,040	○	—	○	—	○	—	○	—
151. イオンモール天津中北	2012年4月	62,000	3,700	10,000	約1,510	○	—	○	—	○	—	○	—
152. イオンモール天津梅江	2014年1月	63,000	2,400	10,000	約2,060	○	—	○	○	○	—	○	—
153. イオンモール蘇州吳中	2014年4月	75,000	3,100	6,000	約2,400	○	○	○	○	○	○	—	—
154. イオンモール河北燕郊	2016年11月	70,000	3,000	6,000	約2,500	○	○	○	○	○	—	○	○
155. イオンモール蘇州園区湖東	2015年5月	75,000	3,000	3,300	約1,300	○	○	○	○	○	○	○	—
156. イオンモール蘇州新区	2016年1月	74,000	3,200	3,817	約1,090	○	○	○	○	○	○	○	○
157. イオンモール杭州良渚新城	2015年11月	66,000	2,500	4,000	約1,600	○	○	○	○	○	○	○	—
158. イオンモール武漢漢銀潭	2014年12月	74,000	2,900	3,000	約3,020	○	—	○	○	—	—	—	—
159. イオンモール武漢経開	2015年12月	105,000	4,000	5,000	約2,650	○	○	○	○	—	—	○	—
160. イオンモール広州番禺広場	2015年12月	65,000	1,700	3,500	約1,300	○	—	—	—	○	—	—	○

ASEAN

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール従業員数	登録身障者専用駐車台数	LED	太陽光発電	高効率空調システム	人感センサー照明発停制御	エスカレーター自動運転制御	せせらぎの川	汚水浄化設備	壁面緑化
161. イオンモール タンファーセラドン	2014年1月	47,000	バイク 4,000 車 500	10,000	約1,500	—	○	—	—	—	○	—	○	—
162. イオンモール ビンソンキャナリー	2014年11月	49,000	バイク 6,000 車 1,000	10,000	約2,000	—	○	—	—	—	○	—	○	—
163. イオンモール ロンピエン	2015年10月	72,000	バイク 10,000 車 1,000	11,300	約3,000	8	○	—	○	○	○	○	○	○
164. イオンモール ビンタン	2016年7月	60,000	バイク 4,000 車 1,500	10,000	約3,000	17	○	○	○	○	○	○	○	○
165. イオンモール プノンペン	2014年6月	66,000	2,300	10,000	約2,500	9	○	○	○	○	○	○	○	—
166. イオンモールBSD CITY	2015年5月	77,000	2,100	20,000	約3,000	—	○	—	—	○	○	—	—	—

OPA

	開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	専門店舗数
167. 聖蹟桜ヶ丘オーバ	1999年9月	16,060	380	9,000	23,360	60
168. 新百合丘オーバ	1997年11月	12,140	140	5,000	22,290	94
169. 藤沢オーバ	1996年3月	8,970	840	2,130	19,010	64
170. 河原町オーバ	1998年11月	9,790	—	2,710	18,850	107
171. 梅田オーバ	2013年4月	2,170	—	—	3,340	20
172. 心斎橋オーバ	1994年11月	10,520	—	2,830	27,030	122
173. 三宮オーバ	1995年10月	3,340	—	4,320	5,610	71
174. 三宮オーバ2	2017年2月	11,700*1	1,660	4,700	17,600	47
175. キャナルシティオーバ	1996年4月	13,340	2,350	—	25,930	129
176. ビブレジーンレイクタウン	2008年9月	2,880	8,290	—	4,300	23
177. 横浜ビブレ	1978年10月	17,770	120	5,970	44,820	137
178. ワールドポーターズビブレ	1999年9月	18,080	1,090	20,080	35,290	93
179. 名古屋ワンダーシティビブレ	2009年4月	2,730	5,140	—	3,600	13
180. 北大路ビブレ	1995年3月	22,180	480	17,590	76,160	94
181. 三宮ビブレ	1969年11月	5,650	—	1,450	10,770	35
182. 明石ビブレ	1997年10月	16,350	660	11,650	53,150	70
183. 天神ビブレ	1976年11月	9,770	1,070	2,430	23,880	84
184. 秋田フォーラス*2	1987年12月	11,020	—	2,830	—	—
185. 仙台フォーラス	1984年11月	14,560	4,500	4,320	31,940	117
186. 金沢フォーラス	2006年11月	26,070	4,150	100,290	60,320	197

\*1 2~9階総リース面積

\*2 秋田フォーラスは2017年2月で一旦休業し、2017年10月下旬に「オーバ」ブランドにて再開予定。





イオンモール株式会社では、環境保全活動や社会地域貢献活動の  
コストを把握し、CSR経営の指標とし、運用しております。  
環境保全活動として、投資と費用合計で「102億75百万円」、2015  
年度比80.5%となりました。

2016年度の投資では、低炭素社会の実現に向け、次世代の電気自  
動車充電器を拡大設置した結果、前年度比115.2%となりました。  
今後も社会インフラの整備を充実させていきます。  
地球温暖化防止に対応するため、高効率設備を積極的に導入して  
きました。空調換気省エネシステムを各モールに導入し、省エネ

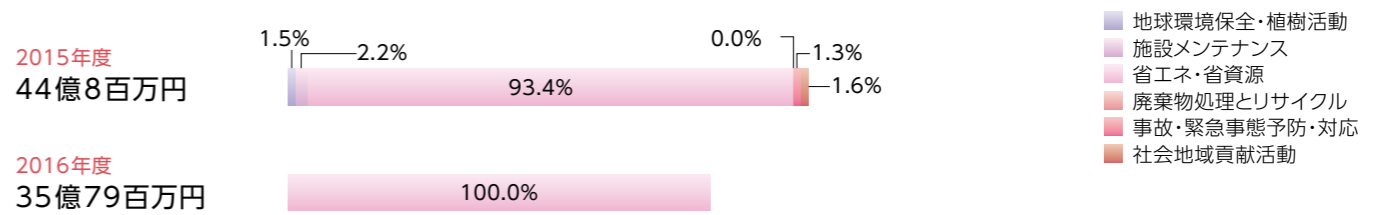
ぎーを実現しました。また、高効率LED照明に関しては、既存店の  
共用部にもLED照明を導入し、共用部のLED採用率100%をめざ  
しています。  
社会地域貢献活動として、投資と費用合計で「11億27百万円」とな  
り、2015年度比129.9%となりました。その中で、主要な取り組み

としては、地域住民の健やかな生活のためのヘルス&ウエルネス、す  
べての人が生き生きと働く職場の実現に向けてイオンゆめみらい保  
育園の運営、そして海外からのお客さまに快適なショッピング環境  
を提供するためのインバウンド推進などが挙げられています。  
CSR会計全体としては、2015年度比83.7%の計上となりました。

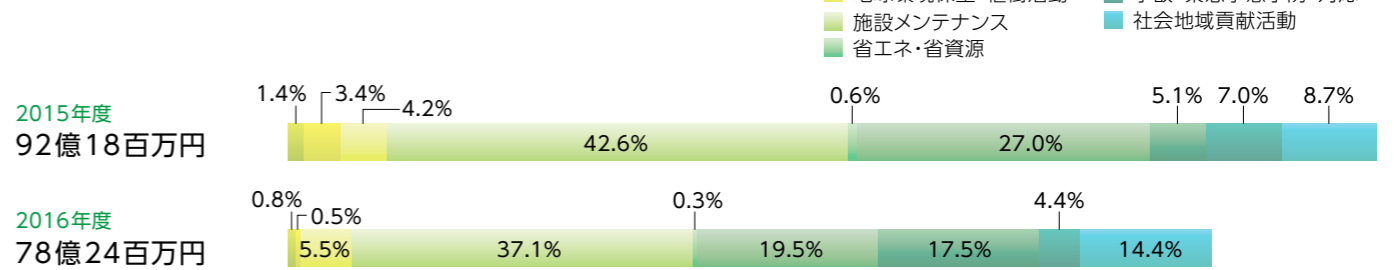
環境保全コストの主な内訳

	投資			費用			総合計 (単位:百万円)		
	2015年度	2016年度	前年比	2015年度	2016年度	前年比	2015年度	2016年度	前年比
環境関係調査費用	—	—	—	130	60	46.0%	130	60	46.0%
環境保全資材の導入	—	—	—	311	42	13.6%	311	42	13.6%
地球環境保全・植樹活動	64	—	—	386	432	111.9%	451	432	95.8%
施設メンテナンス	96	—	—	3,927	2,899	73.8%	4,024	2,899	72.0%
省エネ・省資源	4,116	3,579	86.9%	62	20	31.5%	4,178	3,598	86.1%
電気自動車充電器	540	622	115.2%	5	—	—	545	622	114.0%
空調換気省エネシステム	341	259	75.9%	—	—	—	341	259	75.9%
LED	2,493	2,283	91.6%	—	—	—	2,493	2,283	91.6%
その他	742	415	55.9%	57	20	34.5%	799	435	54.4%
廃棄物処理とリサイクル	1	—	—	2,492	1,531	61.4%	2,493	1,531	61.4%
環境管理	—	—	—	466	1,366	292.7%	466	1,366	292.7%
事故・緊急事態予防・対応	60	—	—	640	346	53.9%	701	346	49.3%
環境保全活動 合計	4,339	3,579	82.5%	8,419	6,697	79.5%	12,758	10,275	80.5%
社会地域貢献活動	69	—	—	798	1,127	141.1%	868	1,127	129.9%
総合計	4,408	3,579	81.2%	9,218	7,824	84.9%	13,626	11,403	83.7%

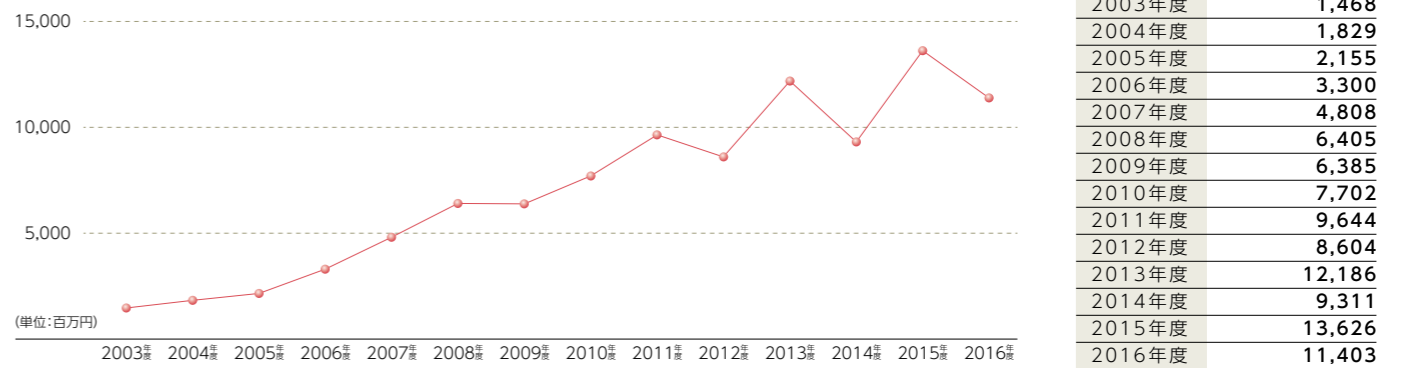
投資額 償却資産への設備投資のうち、環境保全目的の支出。効果は長期に及ぶ。



費用額 当期の環境保全対策として発生した額。原則として1年間のみ。



投資+費用総額の年度別推移



期間: 2016年3月1日～2017年2月28日 範囲: イオンモール(株)ISO14001適用範囲内とする  
 ①複合コスト 環境目的以外のコストと結合している場合についても、原則として全額計上しています。  
 ②人件費 イオンモール従業員の人件費は原則として計上していません。ただし「施設メンテナンス」「廃棄物処理とリサイクル」は人件費を計上しています。  
 ③投資 期中に発生した環境負荷低減の関連機器および施設への投資額で計上しています。(リース契約の場合は、費用に計上) 導入後、移管もしくは変動したのもも導入時の金額が判明している場合は投資として計上しています。(氷蓄熱システムなど)  
 ④減価償却費 減価償却費は計上していません。

立教大学経営学部教授  
高岡 美佳 氏

【プロフィール】

青山学院大学経営学部卒。東京大学大学院経済学研究科で博士号取得。大阪市立大学助教授、立教大学経営学部助教授などを経て2009年4月より現職。主な研究テーマは、流通論、CSRとブランド価値、小売経営と消費者行動。著書に「サステナブル・ライフスタイルナビゲーション」(日科技連出版社、2007年)など。



📍 評価できること

■ イオンモールのCSRレポートに第三者意見を寄せるのは今回で3回目となります。本レポートは「地域とともに『暮らしの未来』をつくるLife Design Developer」を経営理念とするイオンモールの多角的な活動を、CSRトピックス、特集および同社が掲げるCSRの5つの柱に沿って報告しています。今年度は、特集記事がすべて見開き1ページで完結して読みやすく、内容についても一層充実した印象を受けます。また、昨年度に引き続き、ステークホルダーの生の声や現場の写真も多く掲載されており、CSRコミュニケーションの点から見ても優れたレポートと言えるでしょう。

■ 最も高く評価したいのは、イオンモールが実に多様な側面から地域に貢献している点です。このことは、特集1(p.12-p.17)や「継続的な地域社会への貢献」に関する記述(p.28-p.31)から読み取れます。健康を増進するモールウォーキング活動の本格化、文化振興の象徴である市立図書館の開館、落語や伝統的工芸展の開催、期日前投票所の設置、成人式の実施など、地域の人々に対する貢献の方法が多様であることは、同社が実直に地域に目を向けていることの表れだと実感します。また、トップメッセージにあるように、自宅でのEコマースが今後ますます台頭していくことを考えれば、多くのお客様にモールに足を運んでいただくことで楽しんでいただく地域貢献活動が同社の本来の事業活動にも良い影響を及ぼす可能性は高いでしょう。地域と共同で価値を創出し、持続的な成長を目指すCSV(Creating Shared Value)の観点から活動を推進していることを評価したいと思います。

■ 熊本地震の発生から約1年が経過しました。特集2(p.18-p.23)では、イオンモールの災害と向き合う姿勢が現場の声を交えつつ紹介されています。当時、多数報道されましたが、熊本地震発生後、イオングループは日本航空やその他パートナー企業・政府・自治体等と協力しながら被災地にいち早く物資を届けました。また、熊本県内のモールでは、地域の人々

のために素早く施設を開放しました。このような活動は、災害に対する日頃の準備なくしては成し遂げられません。東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県東松島市に対しても、復興支援を継続しています。人々の生活に密着したモールという事業を営む会社ならではのCSR活動を高く評価したいと考えます。

■ 今年度のイオンモールのCSR活動においては、ダイバーシティの推進について着実な進展が見られます(p.34)。女性管理職者数・割合ともに増加して「多様な人材が活躍する企業」へと進んでおり、海外の現地法人ローカルスタッフ人数も増加して「組織・人材のグローバル化」が見て取れます。2016年3月、同社は、継続して活躍・成長が望める制度や取り組みを見える化し、企業の強みにできる環境づくりを推進することを目的として、人事総括部の組織下にダイバーシティ推進グループを新設しました。また、同年6月にはモール内に店舗している専門店を会員とする「イオン同友店会」が同じくダイバーシティ推進部会を新設し、同友店従業員の職場環境向上のために保育園やリラックスルームの設置を実現しています。企業が持続的に成長するためには、組織を活性化させる多様な人材の活用が不可欠です。人材のダイバーシティやワークライフバランスに関する制度的枠組みが新たに構築されたことを評価したいと思います。

📍 要望したいこと

■ イオンモールは、環境に配慮したモールづくりでは国内外でトップレベルに位置していますし、地域貢献や働く人々への配慮に関しても高いレベルに到達していると思います。次年度はぜひ、レポートにアクションプランを掲載してはいかがでしょうか。「5つの柱」でまとめているCSR項目のうち、何をどこまで実施するのか。それぞれについて目標を設定し、実際に行った活動の概要を示すとともに目標達成の度合いを確認するというPDCAサイクルを回すことは、イオンモールのCSR活動のさらなる推進に役立つはずです。



最後までお読みいただきましてありがとうございました。  
当社のCSR活動に関する情報はウェブサイトにも順次掲載してまいります。  
どうぞご参照ください。



昨年度のCSRレポート「未来への報告書2016」が第20回環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門の環境報告優良賞(審査委員長賞)を受賞しました。過去のCSRレポートもウェブサイトでご覧いただけます。

[イオンモール CSR](#) [検索](#)

ひと、  
まちも、  
きらきら。

## イオンモール株式会社

〒261-8539

千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1

TEL:043-212-6348 FAX:043-212-6779

<http://www.aeonmall.com>

イオンモール株式会社は、  
環境マネジメントシステムの  
国際規格「ISO14001」の  
認証取得企業です。

